

平成 3 0 年度

「第 3 期和泉市男女共同参画行動計画（オアシスプラン）」推進状況調査報告書

「和泉市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画（DV 防止基本計画）」
推進状況調査報告書

令和元年 6 月

第3期和泉市男女共同参画行動計画（オアシスプラン）計画の体系

基 本 目 標	施策の方向	施策
I 男女平等の意識を育む	(1) 学校・園における男女平等教育の推進	①男女平等教育の推進 ②一人ひとりの自立・職業意識を育む教育の推進 ③教職員・保育士等の男女平等意識の向上 ④家庭での男女平等・男女共同参画の推進
	(2) 地域における男女平等学習の推進	⑤多様な選択を可能にする学習機会の提供 ⑥女性の意思決定の場への参画に向けての人材育成の充実
	(3) 男性にとっての男女共同参画の推進	⑦家庭・地域への男性の参加・参画の推進
	(4) 男女平等意識の浸透	⑧固定的な性別役割分担意識を解消するための市民への働きかけ ⑨市職員の男女平等・男女共同参画意識の向上 ⑩性に捉われない人権の尊重 ⑪男女共同参画にかかる資料等の充実と積極的提供
	(5) 人権尊重、男女平等に立ったメディアの確立	⑫市の刊行物等の表現の配慮 ⑬メディア・リテラシーの向上
II 男女平等の参加・参画で社会を活性化する	(6) 意思決定の場への女性の参画推進	⑭ポジティブ・アクション（積極的改善措置）の考え方の推進 ⑮審議会等への女性の参画の推進 ⑯女性職員・女性教員の管理職への登用 ⑰事業所や地域における意思決定の場への女性の参画促進 ⑱女性の人材育成
	(7) 男女共同参画で進める就労支援	⑲男女が共に働きやすい職場づくりのための支援 ⑳女性の就労支援
	(8) 男女共同参画で進める地域づくり	㉑性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援 ㉒男女共同参画の視点に立った防災体制の整備 ㉓高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり

基 本 目 標	施策の方向	施策
III 自立を支えあうまちをつくる	(9) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）実現のための支援	㉔ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）という考え方の推進 ㉕男性も女性も、仕事と子育てや介護の両立ができる環境の整備
	(10) 自立した暮らしのための支援	㉖ひとり親家庭への支援 ㉗困難を抱える人々が安定して生活できるための支援
	(11) 生涯を通じた心身の健康づくりの支援	㉘生涯を通じた心身の健康保持・増進
IV 人権が尊重される環境をつくる	(12) あらゆる暴力の根絶	㉙暴力を容認しない社会風土の醸成 ㉚性犯罪等の防止対策及び暴力に対応する相談窓口や支援機関の周知 ㉛セクシュアル・ハラスメント等防止対策の推進
	(13) 安心して相談できる相談体制の充実	㉜相談・支援体制の充実 ㉝相談員の研修の充実 ㉞人権侵害の相談・救済の充実
	(14) DV防止基本計画の推進	㉟DV防止対策の推進

和泉市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画（DV 防止基本計画）の体系

施策の方向
(1)DVについての正しい理解の普及
(2)安心して相談できる体制の充実
(3)一時保護支援と自立支援の充実
(4)関係機関との連携・協力体制の強化

1. 調査の概要

第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)の施策体系に基づき作成した「施策評価シート」により、平成29年度の推進状況を取りまとめるとともに、関係課(室)自ら評価を行い事業の改善点や今後の方向性について整理をするために調査を行いました。

2. 評価項目

下記の項目について関係各課(室)自ら調査を行いました。

◆「施策」に掲げた事項の進捗度

1～4を選択し評価

1. 進んだ
2. やや進んだ
3. 現状維持
4. 進まなかった

◆事業実施度

1～4を選択し評価

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない

◆事業の企画や実施にあたり配慮したこと

①している ②部分的にしている ③していない で評価

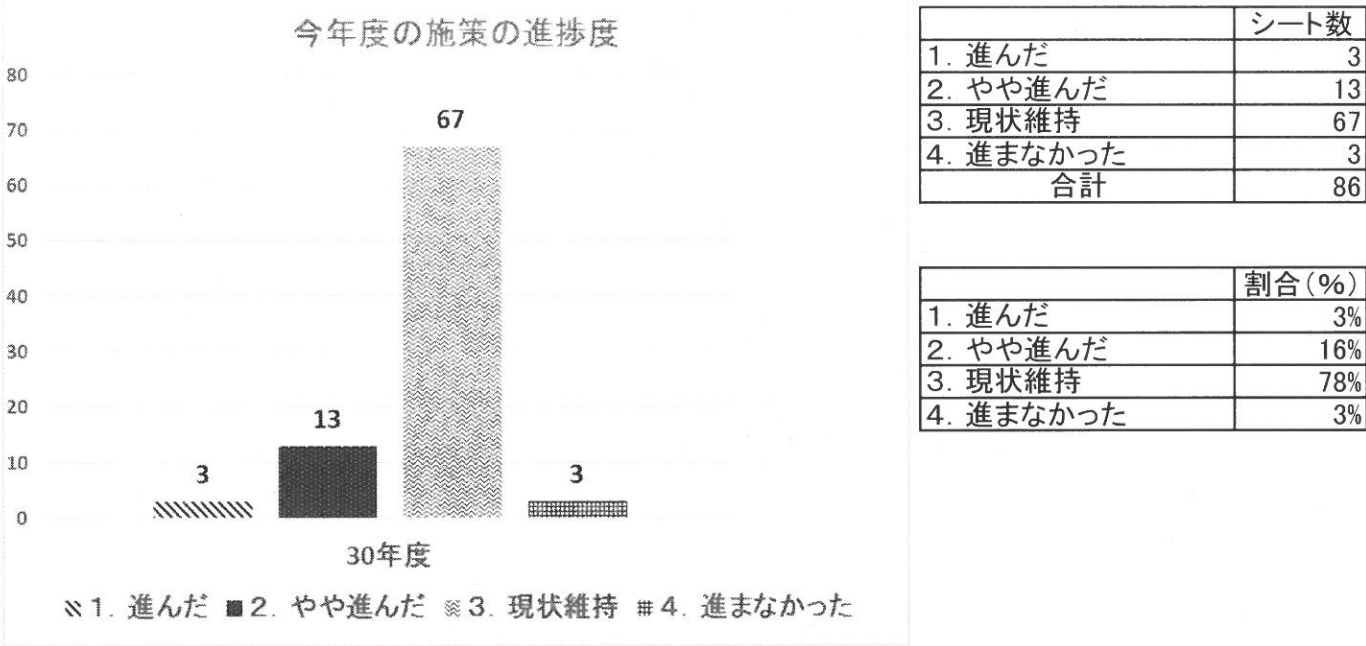
1. 事業の企画立案において対象となる人や現状を男女別に把握した
2. 事業の方向性において男女共同参画に配慮した
3. 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした

和泉市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画(DV防止基本計画)の施策体系に基づき作成した「施策評価シート」により、平成29年度の推進状況を取りまとめました。

3. 第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)30年度の進捗状況

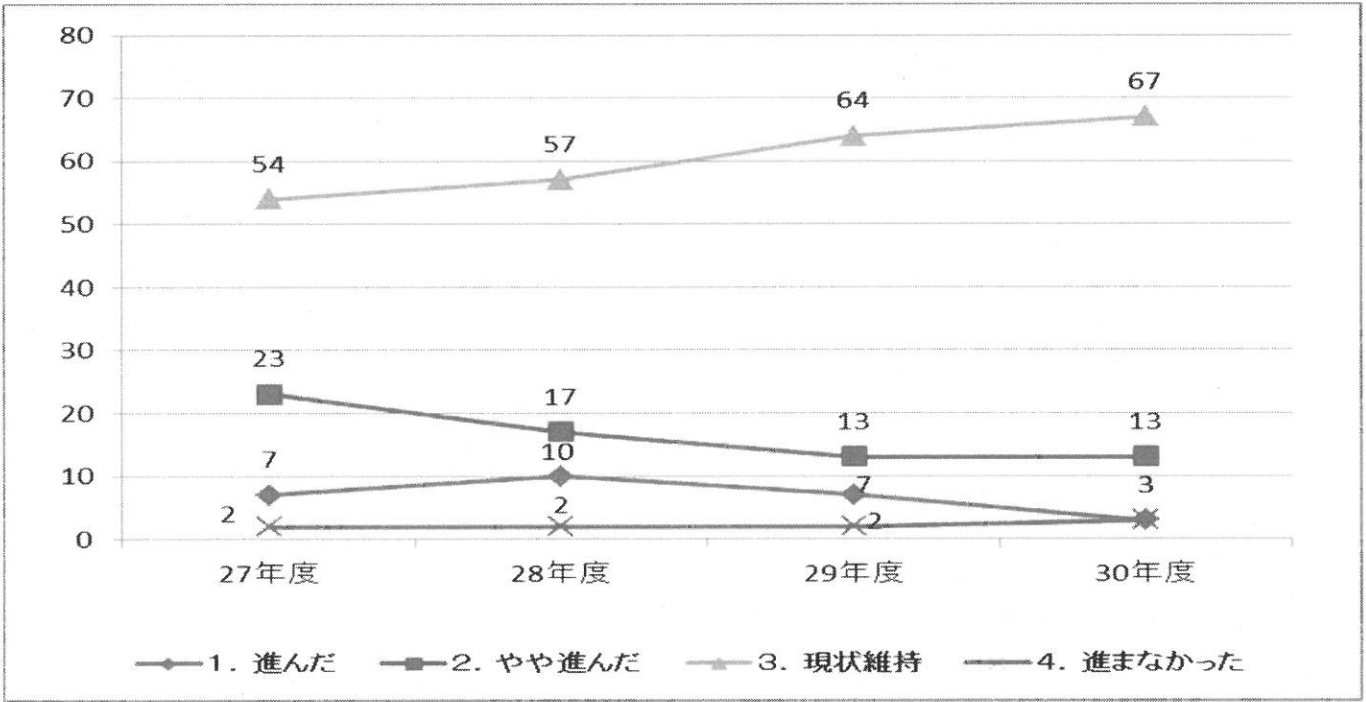
◆「施策」に掲げた事項の進捗度

基本目標Ⅰ 男女平等の意識を育む

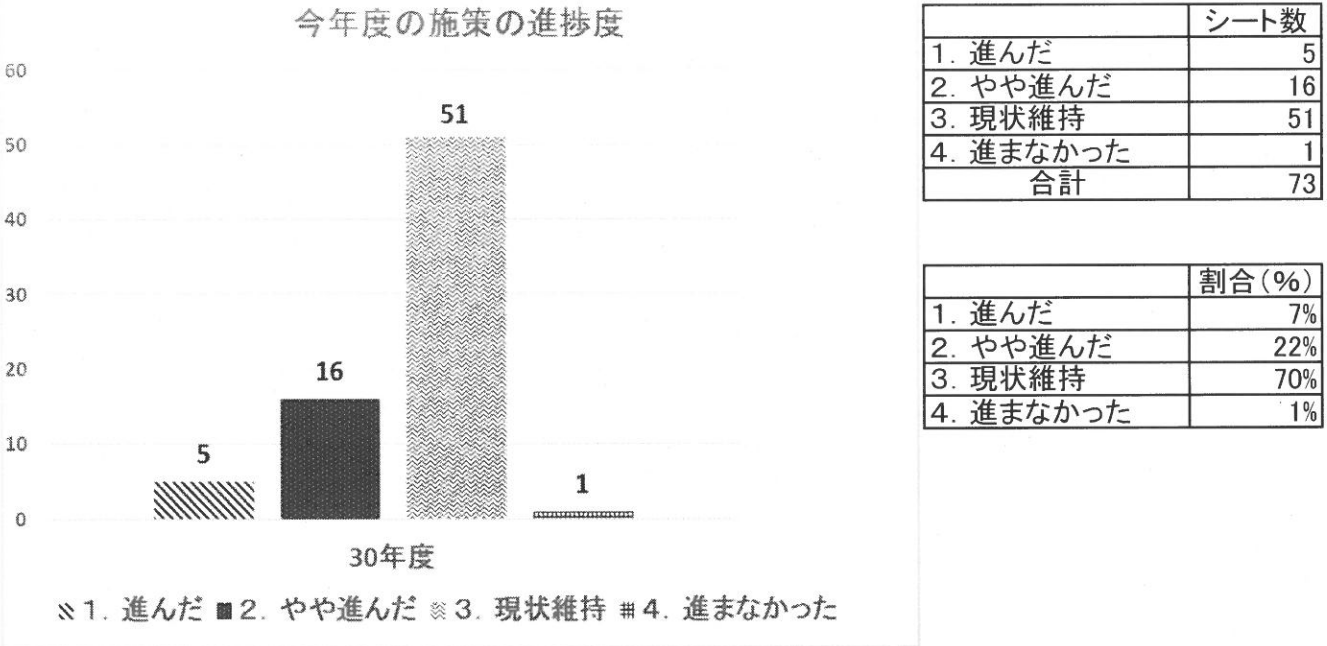


各施策についての評価シートは86になりました。
各施策についての14の関係各課(室)において評価を行いました。
その結果、「進んだ」の回答は3で、3%、「やや進んだ」は13で、16%となりました。
また、「現状維持」の回答は67で、78%、「進まなかった」の回答は3で、3%となりました。

基本目標Ⅰ
【施策に掲げた事項の進捗度 平成27年度～平成30年度推移】

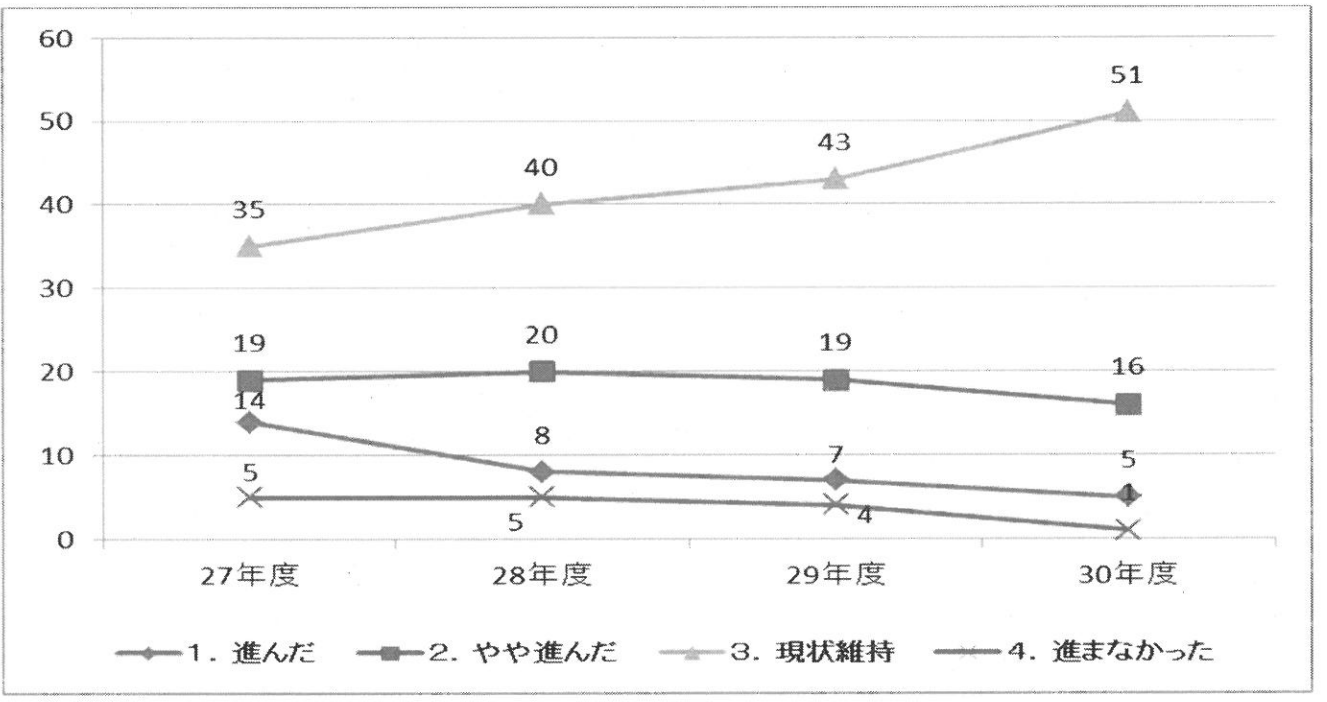


基本目標Ⅱ 男女平等の参加・参画で社会を活性化させる



各施策についての評価シートは73になりました。
各施策についての14の関係各課(室)において評価を行いました。
その結果、「進んだ」の回答は5で、7%、「やや進んだ」は16で、22%となりました。
また、「現状維持」の回答は51で、70%、「進まなかった」の回答は1で、1%となりました。

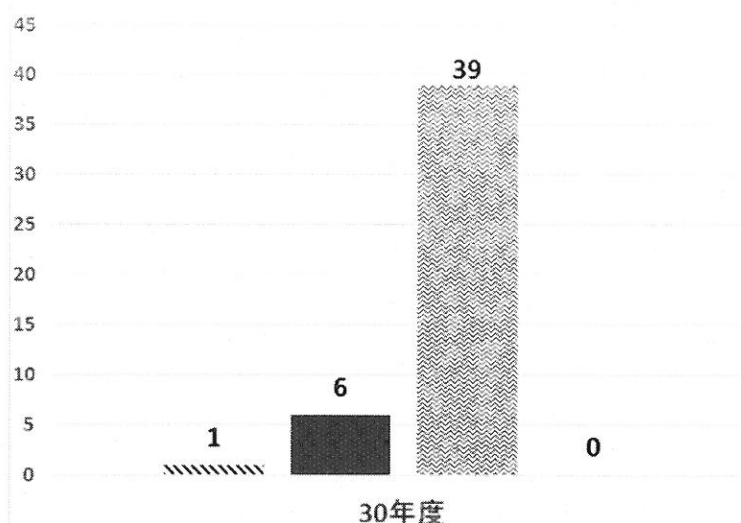
基本目標Ⅱ
【施策に掲げた事項の進捗度 平成27年度～平成30年度推移】



◆「施策」に掲げた事項の進捗度

基本目標Ⅲ 自立を支えあうまちをつくる

今年度の施策の進捗度



	シート数
1. 進んだ	1
2. やや進んだ	6
3. 現状維持	39
4. 進まなかった	0
合計	46

	割合(%)
1. 進んだ	2%
2. やや進んだ	13%
3. 現状維持	85%
4. 進まなかった	0%

※ 1. 進んだ ■ 2. やや進んだ ※ 3. 現状維持 ■ 4. 進まなかった

各施策についての評価シートは46になりました。

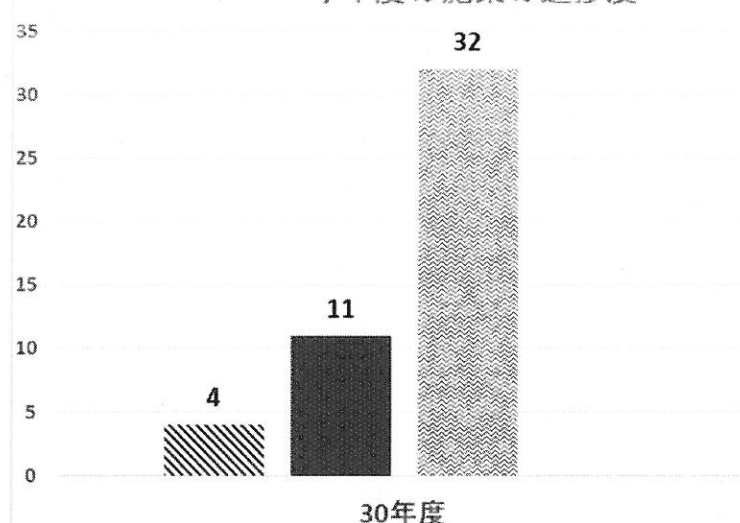
各施策についての10の関係各課(室)において評価を行いました。

その結果、「進んだ」の回答は1で、2%、「やや進んだ」は6で、13%となりました。

また、「現状維持」の回答は39で、85%、「進まなかった」の回答は0で、0%となりました。

基本目標Ⅳ 人権が尊重される環境をつくる

今年度の施策の進捗度



	シート数
1. 進んだ	4
2. やや進んだ	11
3. 現状維持	32
4. 進まなかった	0
合計	47

	割合(%)
1. 進んだ	9%
2. やや進んだ	23%
3. 現状維持	68%
4. 進まなかった	0%

※ 1. 進んだ ■ 2. やや進んだ ※ 3. 現状維持 ■ 4. 進まなかった

各施策についての評価シートは47になりました。

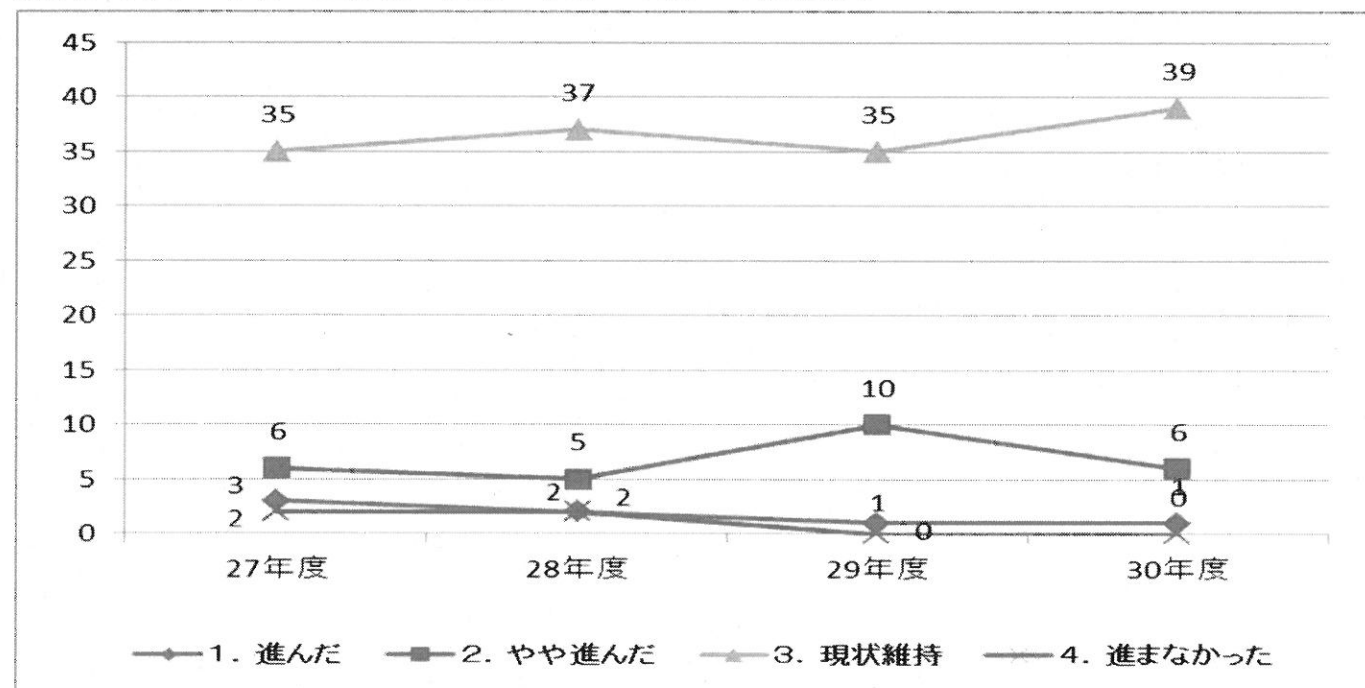
各施策についての13の関係各課(室)において評価を行いました。

その結果、「進んだ」の回答は4で、9%、「やや進んだ」は11で、23%となりました。

また、「現状維持」の回答は32で、68%、「進まなかった」の回答は0で、0%となりました。

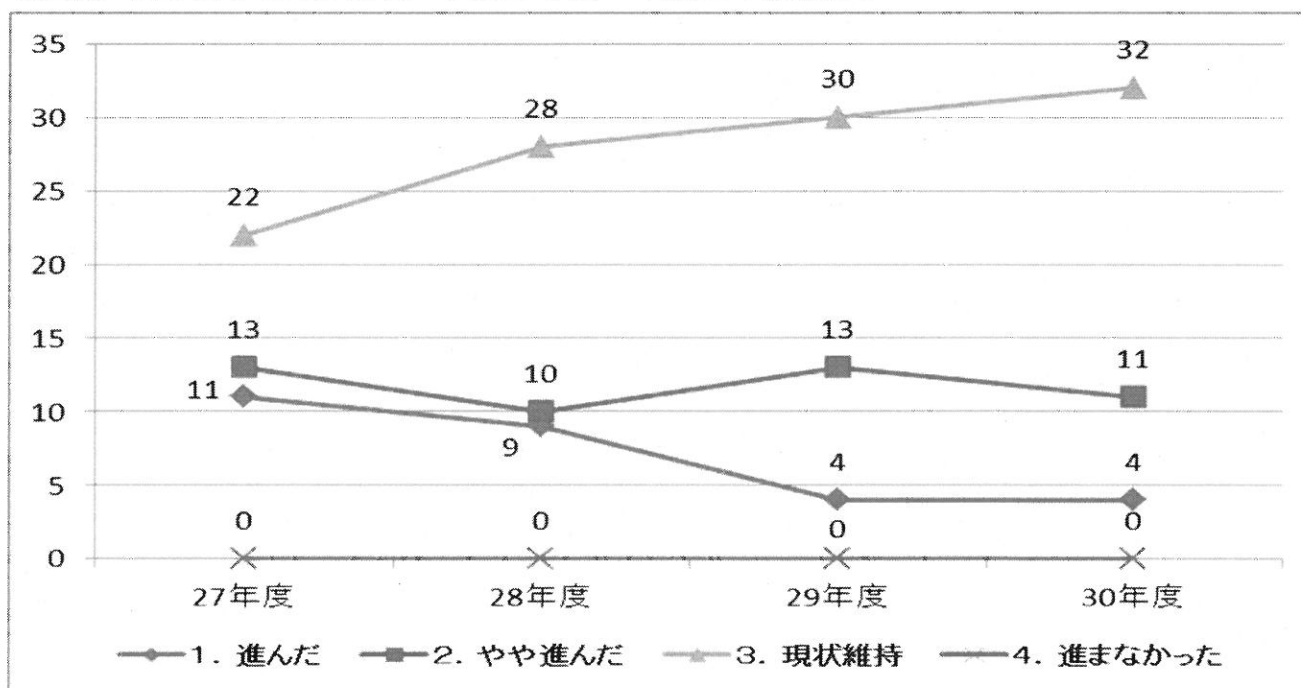
基本目標Ⅲ

【施策に掲げた事項の進捗度 平成27年度～平成30年度推移】



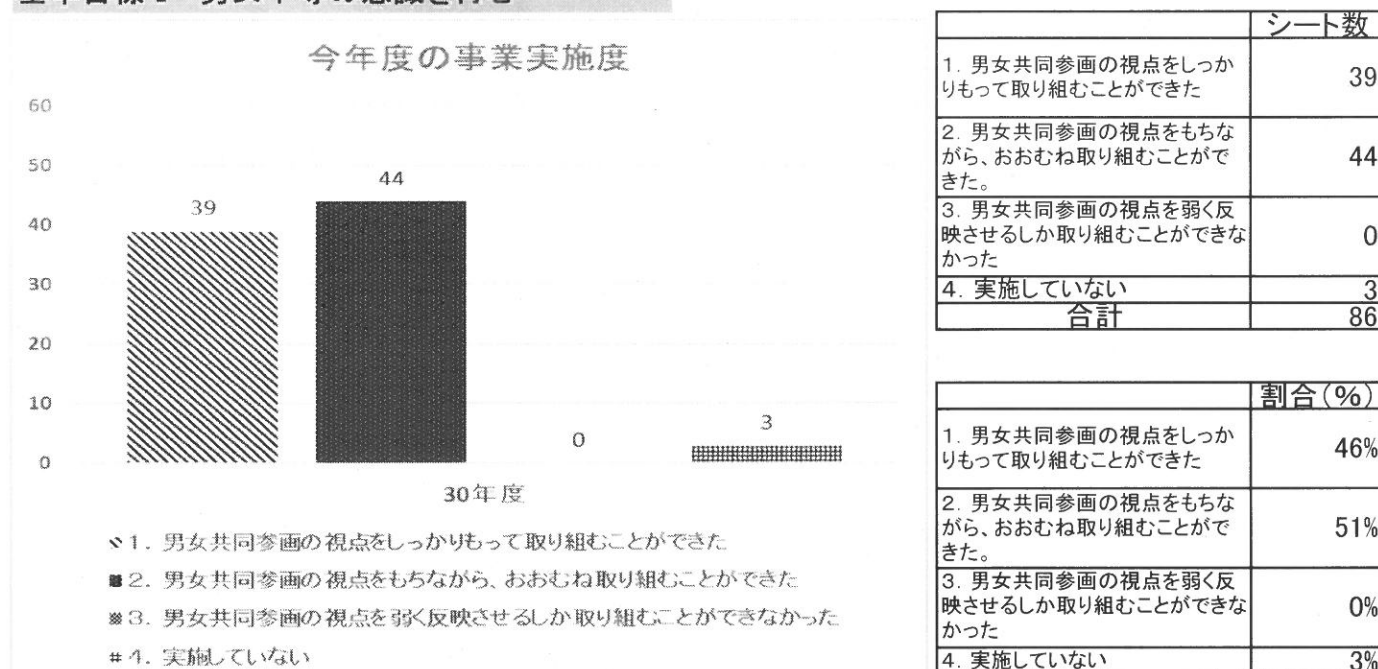
基本目標Ⅳ

【施策に掲げた事項の進捗度 平成27年度～平成30年度推移】



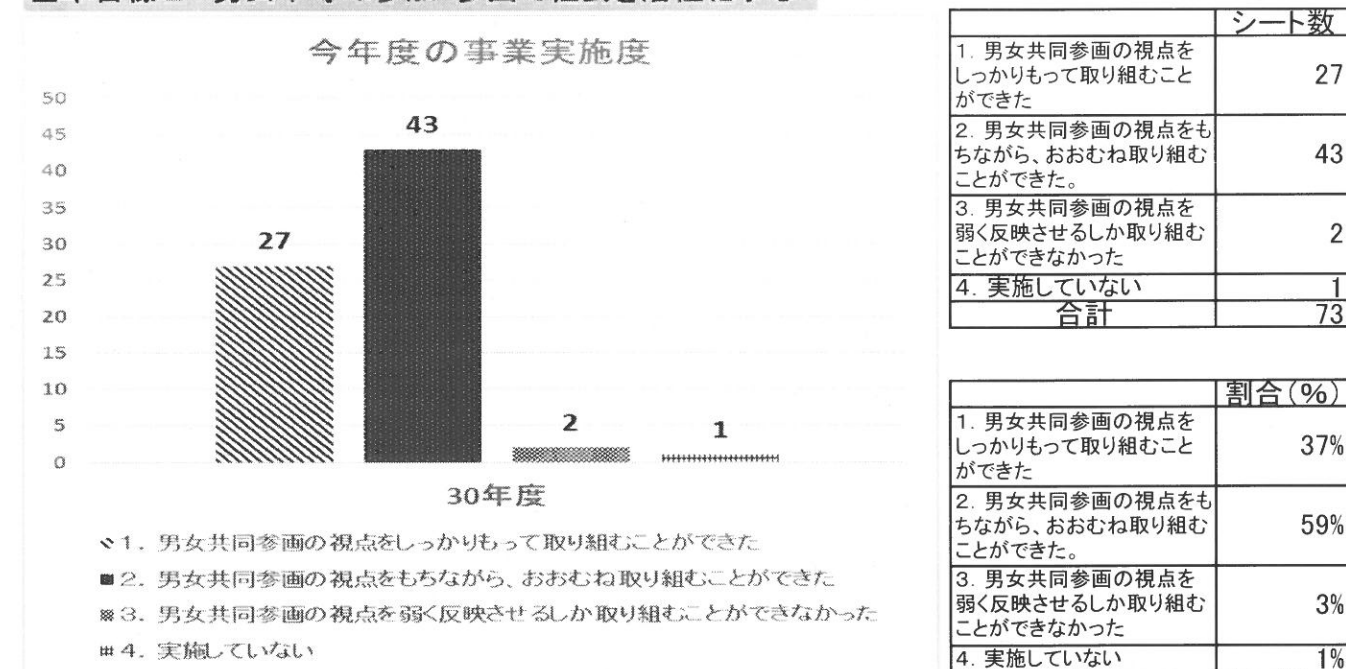
◆事業実施度

基本目標Ⅰ 男女平等の意識を育む



各施策についての評価シートは86になりました。
各施策についての14の関係各課(室)において評価を行いました。
その結果、「1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた」の回答は39で、46%、「2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。」は44で、51%となりました。
また、「3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった」の回答はありませんでした。
「実施していない」の回答は3で、3%でした。

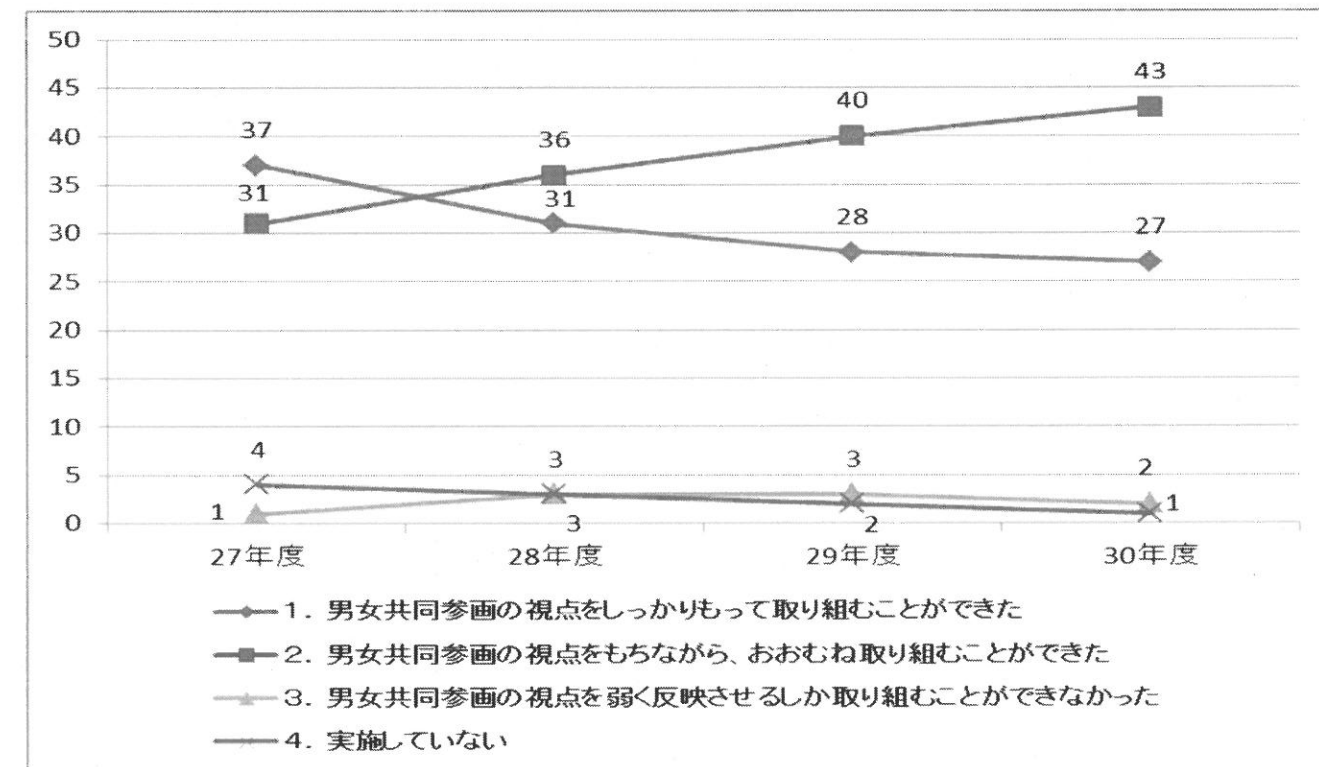
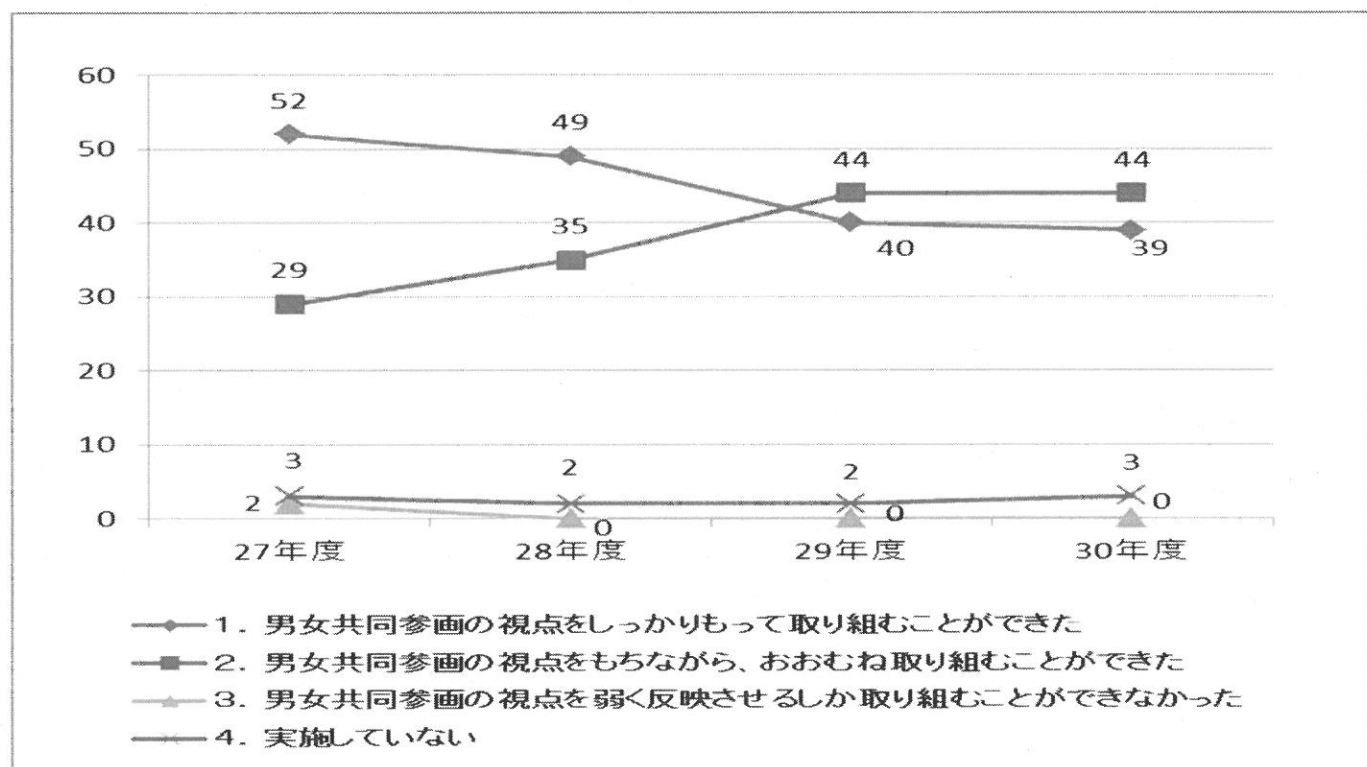
基本目標Ⅱ 男女平等の参加・参画で社会を活性化する



各施策についての評価シートは73になりました。各施策についての14の関係各課(室)において評価を行いました。
その結果、「1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた」の回答は27で、37%、「2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。」は43で、59%となりました。
また、「3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった」の回答は2で、3%、「実施していない」の回答1で、1%でした。

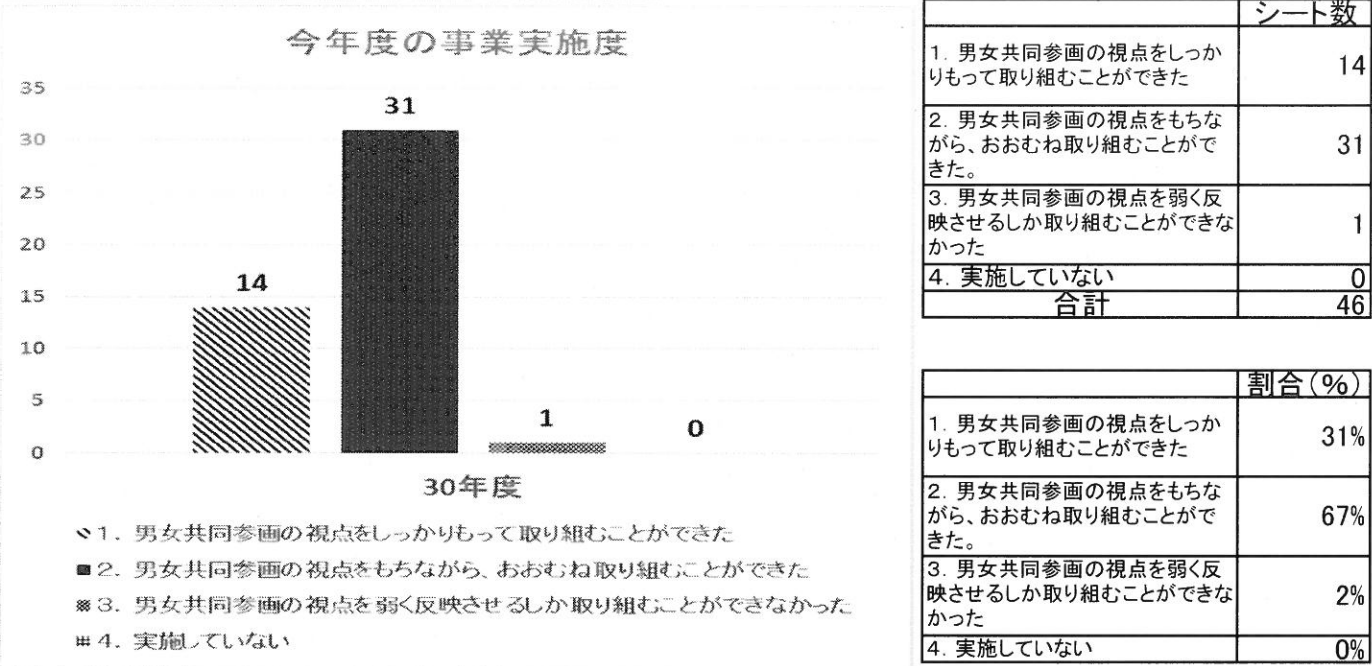
基本目標Ⅰ

【施策に掲げた事項の実施度 平成27年度～平成30年度推移】



◆事業実施度

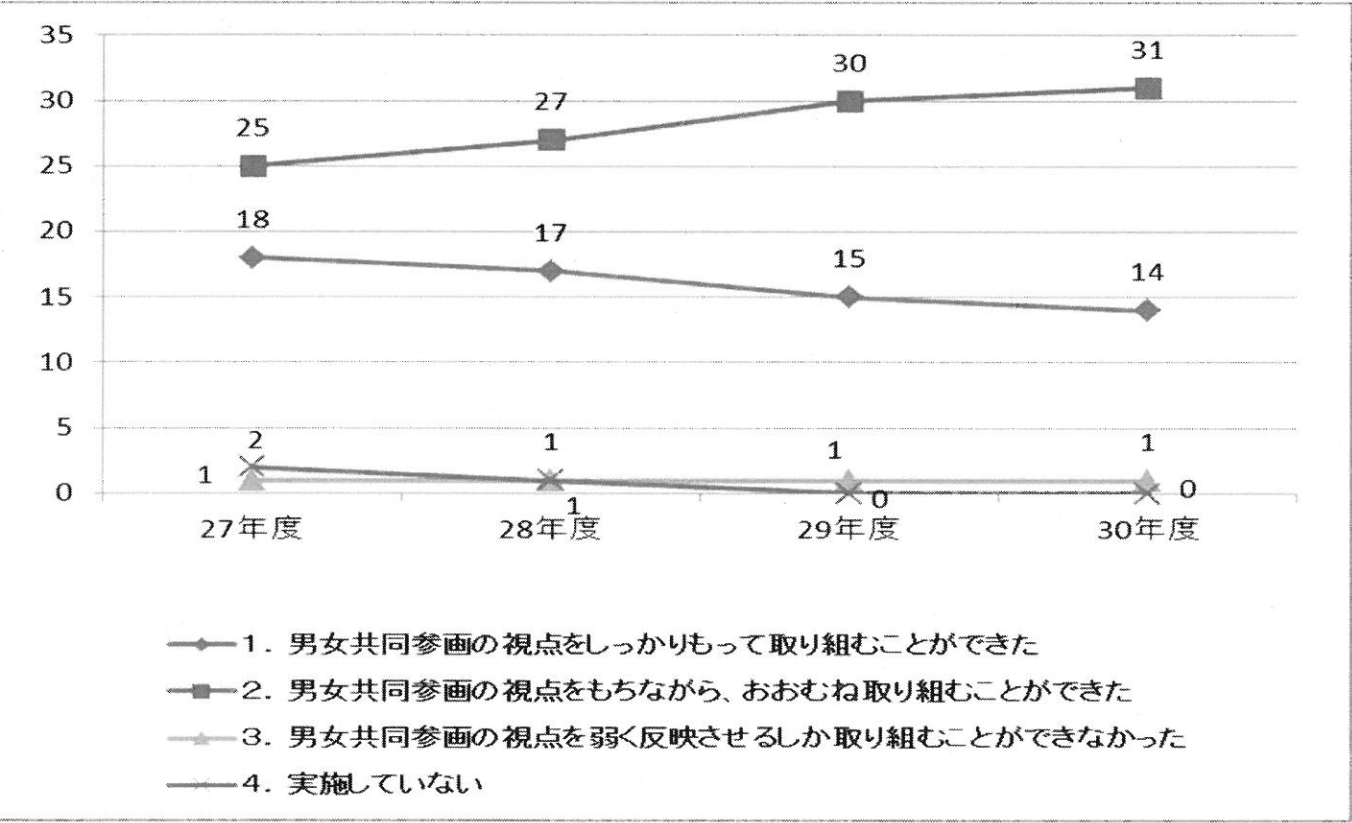
基本目標Ⅲ 自立を支えあうまちをつくる



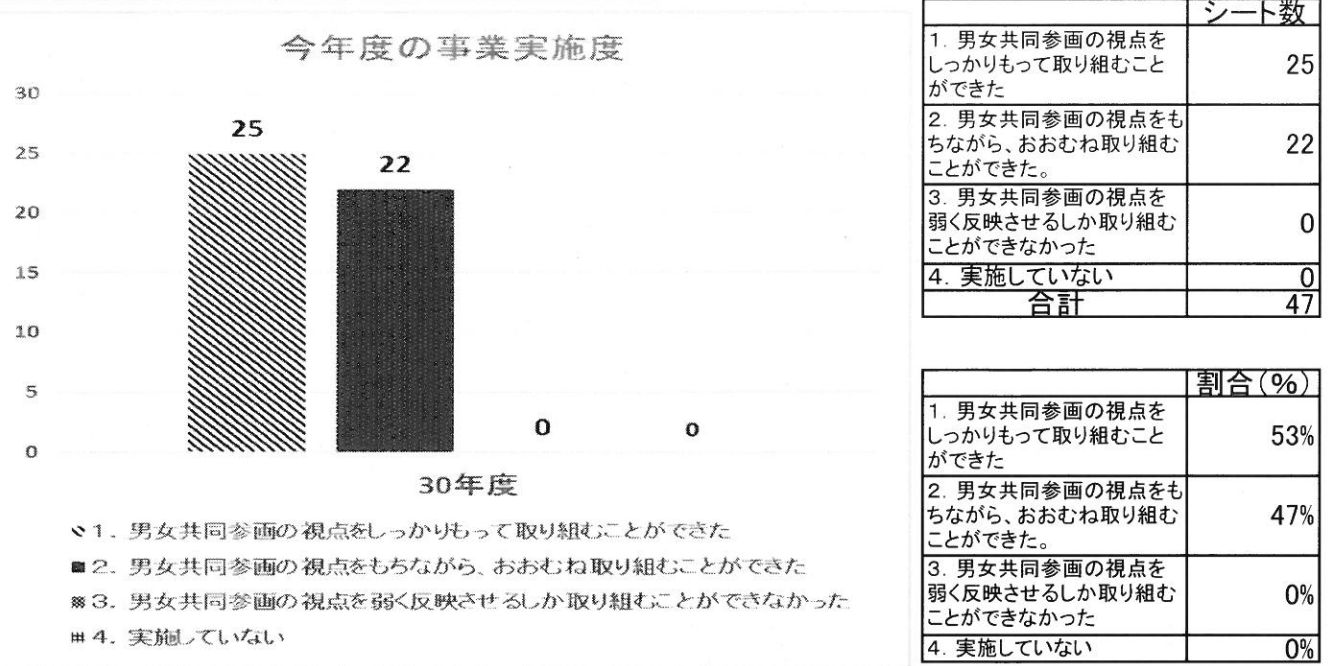
各施策についての評価シートは46になりました。
各施策についての10の関係各課(室)において評価を行いました。
その結果、「1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた」の回答は14で、31%、「2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。」は31で、67%となりました。
また、「3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった」の回答は1で、2%、「実施していない」の回答はありませんでした。

基本目標Ⅲ

【施策に掲げた事項の実施度 平成27年度～平成30年度推移】



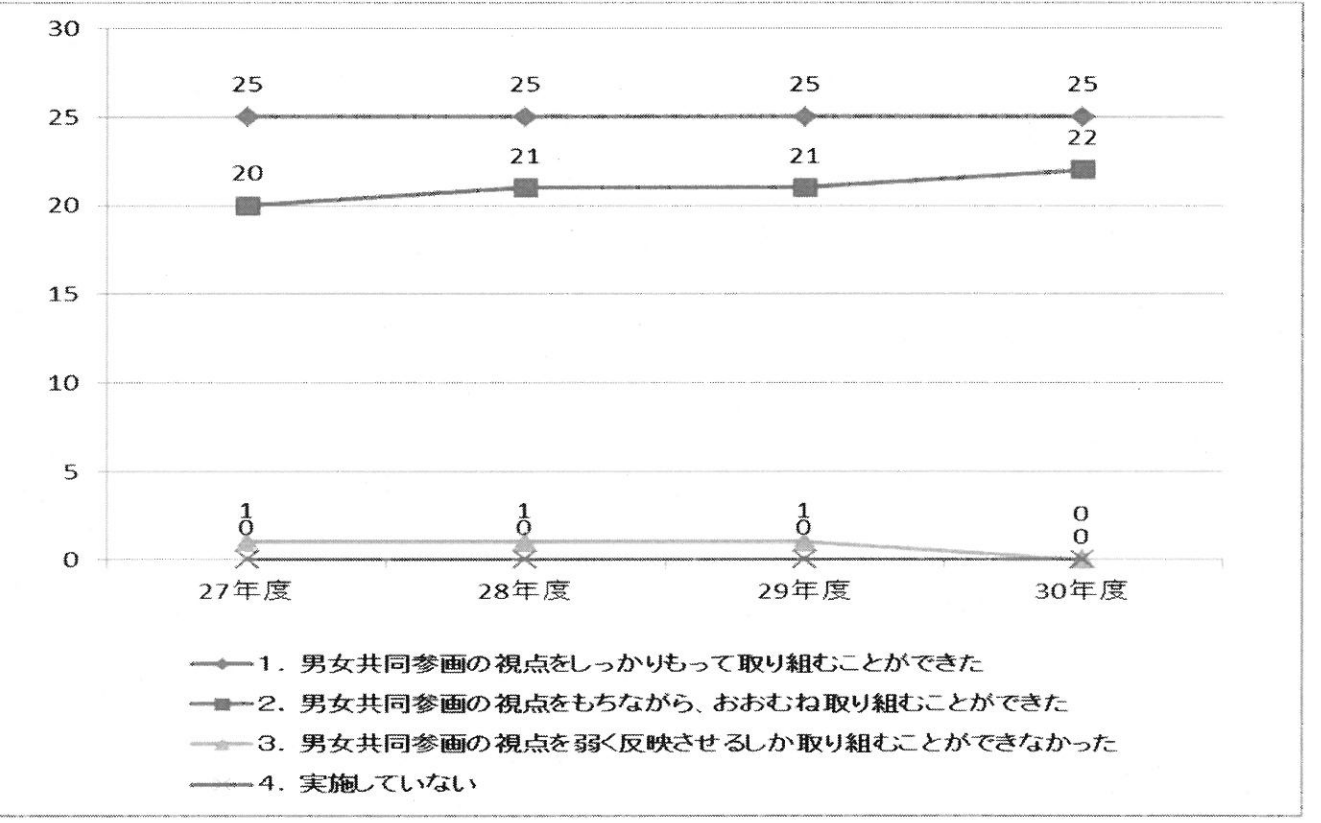
基本目標Ⅳ 人権が尊重される環境をつくる



各施策についての評価シートは47になりました。各施策についての10の関係各課(室)において評価を行いました。
その結果、「1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた」の回答は25で、53%、「2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。」は22で、47%となりました。
また、「3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった」及び「実施していない」の回答はありませんでした。

基本目標Ⅳ

【施策に掲げた事項の実施度 平成27年度～平成30年度推移】



男女共同参画行動計画(オアシスプラン)活動指標 平成27年度～平成30年度経年比較表

基本 目標 番号	施策の方向	施策	事業 番号	担当課	原課(室)における事業名	活動指標名	27年目標 実績	28年目標 実績	29年目標 実績	30年目標 実績	30年目標 予定	令和元年(平成 31年度)目標	令和6年(平成36 年度)目標
基本 目標 I	1 学校・園における男女 平等教育の推進	1 男女平等教育の 推進	1	教育委員 会指導室	人権教育推進計画に基づく教育 活動の取組とその評価・公表	市内小中学校に対する策定・取 組推進している学校数	31校/31校	31校/31校	30校/30校	30校/30校	30校/30校	全小中学校	全小中学校
基本 目標 I	1 学校・園における男女 平等教育の推進	1 男女平等教育の 推進	3	人権・男女 参画室	男女共同参画社会づくり講座 の実施 (女性に対する暴力をなくす 啓発事業)	定員に対する参加率	70%	65%	113%	77%	100%	100%	100%
基本 目標 I	1 学校・園における男女 平等教育の推進	1 男女平等教育の 推進	5	教育委員 会指導室	保健体育や総合的な時間を利用 して性教育を実施	市内小中学校数に対する取組を している学校数	31校/31校	31校/31校	30校/30校	30校/30校	30校/30校	全小中学校	全小中学校
基本 目標 I	1 学校・園における男女 平等教育の推進	1 男女平等教育の 推進	6	こども未来 室	保育所・幼稚園における「不 審者侵入対処訓練」の実施	不審者侵入対処訓練の実施回 数	(保)年12回 (幼)年5回	(保)年12回 (幼)年5回	(保)年12回 (幼)年5回	(保)年12回 (幼)年6回	(保)年12回 (幼)年6回	(保)年12回 (幼)年9回	(保)年12回 (幼)年11回
基本 目標 I	1 学校・園における男女 平等教育の推進	1 男女平等教育の 推進	6	教育委員 会指導室	子ども対象の「犯罪防止教室」の 実施	市内小中学校数に対して学習機 会を実施している学校数	31校/31校	31校/31校	30校/30校	30校/30校	30校/30校	全小中学校	全小中学校
基本 目標 I	1 学校・園における男女 平等教育の推進	3 教職員・保育士 等の男女平等意識 の向上	12	教育委員 会指導室	各校に男女平等教育の担当教 員の配置	市内小中学校数に対する男女平 等教育担当教員の配置校数	31校/31校	31校/31校	30校/30校	30校/30校	30校/30校	全小中学校	全小中学校
基本 目標 I	1 学校・園における男女 平等教育の推進	3 教職員・保育士 等の男女平等意識 の向上	12	教育委員 会指導室	男女平等教育実践事例や指導 事例集(府)を活用した校内研修 校数	市内小中学校数に対する男女平 等教育に関する研修を行った学 校数	31校/31校	31校/31校	30校/30校	30校/30校	30校/30校	全小中学校	全小中学校
基本 目標 I	1 学校・園における男女 平等教育の推進	3 教職員・保育士 等の男女平等意識 の向上	13	教育委員 会指導室	各校の管理職・担当職員へのセ クシュアル・ハラスメント防止や 今日的課題に関する研修の実施	市内小中学校数に対するセク シュアル・ハラスメント防止研修を 行った学校数	31校/31校	31校/31校	30校/30校	30校/30校	30校/30校	全小中学校	全小中学校
基本 目標 I	1 学校・園における男女 平等教育の推進	4 家庭での男女平 等・男女共同参画 の推進	14	教育委員 会指導室	モデル校(園)の実践報告会の 実施	市内小中学校で学習会が行わ れた学校数	7校/31校	6校/31校	9校/30校	6校/30校	10校/30校	15校/31校	上昇
基本 目標 I	1 学校・園における男女 平等教育の推進	4 家庭での男女平 等・男女共同参画 の推進	14	人権・男女 参画室	男女共同参画社会づくり講座 の実施 (子育て応援講座・子どもサイ エンスキャンパス)	定員に対する参加率	76%	64%	102%	92%	100%	100%	100%
基本 目標 I	2 地域における男女平等 学習の推進	5 多様な選択を可 能にする学習機会 の提供	16	人権・男女 参画室	男女共同参画社会づくり講座 の実施 (アドバイザー養成講座)	定員に対する参加率	70%	68%	81%	57%	100%	100%	100%
基本 目標 I	2 地域における男女平等 学習の推進	5 多様な選択を可 能にする学習機会 の提供	16	青少年セン ター	青少年男女共同参画事業	定員に対する参加率	81%	87%	66%	83%	100%	100%	100%
基本 目標 I	2 地域における男女平等 学習の推進	5 多様な選択を可 能にする学習機会 の提供	17	いずみア ピール課	市政情報発信事業いずみ メール登録者数	いずみメール登録者数	1,772人	3,340人	3,660人	8,421人	3,800人	4,000人	6,500人
基本 目標 I	2 地域における男女平等 学習の推進	6 女性の意思決定 の場への参画に向 けての人材育成の 充実	19	人権・男女 参画室	和泉市男女共同参画センター の図書コーナーの充実	図書コーナーの年間貸出冊数	452冊	406冊	464冊	344冊	500冊	上昇	600冊
基本 目標 I	2 地域における男女平等 学習の推進	6 女性の意思決定 の場への参画に向 けての人材育成の 充実	21	人権・男女 参画室	・いきいきライフ講座 ・いずみワクワク講座の開催	各講座の定員に対する参加率	92%	95%	107%	107%	100%	100%	100%
基本 目標 I	3 男性にととの男女共 同参画の推進	7 家庭・地域への 男性の参加・参画 の推進	22	人権・男女 参画室	・「子育て応援講座」 ・「男性学講座」の開催	各講座の定員に対する参加率	120%	84%	71%	86%	100%	100%	100%

男女共同参画行動計画(オアシスプラン)活動指標 平成27年度～平成30年度経年比較表

基本 目標 番号	施策の方向	施策	事業 番号	担当課	原課(室)における事業名	活動指標名	27年目標 実績	28年目標 実績	29年目標 実績	30年目標 実績	30年目標 予定	令和元年(平成 31年度)目標	令和6年(平成36 年度)目標
基本 目標 Ⅰ	3 男性にとっての男女共同参画の推進	7 家庭・地域への男性の参加・参画の推進	23	人権・男女参画室	男性学講座	定員に対する参加率	180%	103%	54%	80%	100%	100%	100%
基本 目標 Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	8 固定的な性別役割分担意識を解消するための市民への働きかけ	24	人権・男女参画室	・「男女共同参画週間事業(ミニフォーラム)」 ・「女と男のフォーラム」	「女と男のフォーラム」「男女共同参画週間事業」の定員に対する参加率	106%	89%	78%	68%	100%	100%	100%
基本 目標 Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	8 固定的な性別役割分担意識を解消するための市民への働きかけ	25	人権・男女参画室	男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業の実施	助成金事業応募団体数	5団体	6団体	4団体	8団体	10団体	12団体	15団体
基本 目標 Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	8 固定的な性別役割分担意識を解消するための市民への働きかけ	27	人権・男女参画室	「女と男のフォーラム」「男女共同参画週間事業ミニフォーラム」の開催	定員に対する参加率	106%	89%	78%	68%	100%	100%	100%
基本 目標 Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	9 市職員の男女平等・男女共同参画意識の向上	28	人事課	男女共同参画研修	新採研修受講率	67%	82%	90%	76%	100%	100%	100%
基本 目標 Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	9 市職員の男女平等・男女共同参画意識の向上	28	人権・男女参画室	男女共同参画施策推進員の研修の実施	定員に対する参加率	72%	78%	78%	63%	100%	100%	100%
基本 目標 Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	11 男女共同参画にかかる資料等の充実と積極的提供	33	読書振興課	男女共同参画に関する資料収集	シティプラザ図書館における男女共同参画コーナーの資料購入点数	44点	29点	12点	40点	購入20点以上	継続	継続
基本 目標 Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	11 男女共同参画にかかる資料等の充実と積極的提供	33	読書振興課	男女共同参画に関する資料提供	シティプラザ図書館における男女共同参画コーナーの資料貸出し点数	876点	795点	640点	717点	貸出し1,000点以上	上昇	1,500点
基本 目標 Ⅰ	4 男女平等意識の浸透	11 男女共同参画にかかる資料等の充実と積極的提供	33	人権・男女参画室	図書館における男女共同参画に関する資料の収集	図書コーナーの年間貸し出し冊数	452冊	406冊	464冊	336冊	500冊	上昇	600冊
基本 目標 Ⅰ	5 人権尊重、男女平等に立ったメディアの確立	13 メディア・リテラシーの向上	35	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくり講座の実施 (アドバイザー養成講座)	定員に対する参加率	54%	60%	53%	57%	100%	100%	100%
基本 目標 Ⅰ	5 人権尊重、男女平等に立ったメディアの確立	13 メディア・リテラシーの向上	36	生涯学習課	「青少年の非行・被害防止に取り組む全国強化月間」の取組	広報車での市内啓発	全校区	全校区	全校区	全校区	全校区	全校区	全校区
基本 目標 Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	14 ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方の推進	37	人事課	女性職員の職務内容の見直しと職域の拡大	和泉市の女性管理職の割合	17%	17.5%	17.1%	17.6%	18%	上昇	20%
基本 目標 Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	15 審議会等への女性の参画の推進	38	人権・男女参画室	女性委員の参画率	関係各課と連携して早期目標値の達成に努める(達成率)	32.8%	32.3%	29.5%	29.8%	35%	35%	40%
基本 目標 Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	15 審議会等への女性の参画の推進	39	人権・男女参画室	事前協議の強化	女性委員がいない審議会等の解消	4件	3件	3件	6件	0件	0件	0件
基本 目標 Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	15 審議会等への女性の参画の推進	41	人権・男女参画室	事前協議	和泉市審議会等への女性委員の参画率	32.8%	32.1%	29.5%	29.8%	35%	35%	40%
基本 目標 Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	15 審議会等への女性の参画の推進	42	人権・男女参画室	市民啓発	和泉市審議会等への女性委員の参画率	32.8%	32.1%	29.5%	29.8%	35%	35%	40%

男女共同参画行動計画(オアシスプラン)活動指標 平成27年度～平成30年度経年比較表

基本 目標 番号	施策の方向	施策	事業 番号	担当課	原課(室)における事業名	活動指標名	27年目標 実績	28年目標 実績	29年目標 実績	30年目標 実績	30年目標 予定	令和元年(平成 31年度)目標	令和6年(平成36 年度)目標
基本 目標 Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	16 女性職員・女性教員の管理職への登用	43	人事課	女性職員の職務内容の見直しと職域の拡大	和泉市の女性管理職の割合 (再掲Ⅱ-6-14-37)	17%	17.5%	17.1%	17.6%	18%	上昇	20%
基本 目標 Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	16 女性職員・女性教員の管理職への登用	43	人事課	残業の見直し、サポート体制の整備	H26年度比20%以上の時間外削減	9%	17%	18.7%	18.3%	20%	20%以上	20%以上
基本 目標 Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	16 女性職員・女性教員の管理職への登用	44	人事課	女性リーダー養成のための研修	職階別研修の女性職員参加者数	26人	46人	49名	56人	50人	25人	30人
基本 目標 Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	16 女性職員・女性教員の管理職への登用	44	人事課	係長級昇任試験の受験者数向上	女性職員の係長級昇任試験受験率	21%	17.7%	14.2%	15.7%	22%	25%	30%
基本 目標 Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	16 女性職員・女性教員の管理職への登用	44	教育委員会指導室	学校におけるミドルリーダー研修の実施	ミドルリーダー研修における女性教職員の参加率	56%	25%	11%	50%	50%	52%	55%
基本 目標 Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	16 女性職員・女性教員の管理職への登用	45	人事課	女性職員の管理職登用	和泉市の女性管理職の割合 (再掲Ⅱ-6-14-37)	17%	17.5%	17.1%	17.6%	18%	上昇	20%
基本 目標 Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	16 女性職員・女性教員の管理職への登用	45	教育委員会指導室	女性教職員の管理職任用を積極的推進	小中学校の教職員における女性の管理職率	15%	15%	16%	18%	16%	20%	30%
基本 目標 Ⅱ	6 意思決定の場への女性の参画推進	18 女性の人材育成	48	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の実施	修了生(第1期からの累計) (H26年度累計544人)	554人	561人	580人	584人	610人	594人	644人
基本 目標 Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	57	商工労働室	若者支援セミナー・職業能力開発事業	女性の参加率	61%	39%	65%	68%	45%	45%	50%
基本 目標 Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	57	人権・男女参画室	再就職チャレンジ支援講座の実施	定員に対する参加率	34%	103%	71%	105%	100%	100%	100%
基本 目標 Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	58	商工労働室	和泉市無料職業紹介センター事業	女性の就職率	59%	45%	61%	68%	45%	45%	50%
基本 目標 Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	59	商工労働室	就職情報フェア事業	参加者数	360人	340人	260人	220人	280人	280人	300人
基本 目標 Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	60	商工労働室	若者支援セミナー	女性の参加率	74%	68%	78%	81%	45%	45%	50%
基本 目標 Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	62	農林課	和泉ファームステイ	女性のファームステイの参加率	40%	50%	0%	25%	50%	40%	50%
基本 目標 Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	63	商工労働室	求人開拓事業	求人受理件数	906件	964件	1,229件	1,374件	900件	900件	950件
基本 目標 Ⅱ	7 男女共同参画で進める就労支援	20 女性の就労支援	63	高齢介護室	シルバー人材センター運営補助事業の実施	シルバー人材センターの女性会員数の増加	1,849人 (うち女性588人)	1,796人 (うち女性566人)	1,729人 (うち女性546人)	1,751人 (うち女性551人)	2,000人 (うち女性上昇)	1,899人 (うち女性上昇)	1,942人 (うち女性上昇)
基本 目標 Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	21 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援	64	公民協働推進室	和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業	制度参加団体数	38団体	33団体	41団体	41団体	49団体	50団体	55団体

男女共同参画行動計画(オアシスプラン)活動指標 平成27年度～平成30年度経年比較表

基本目標 番号	施策の方向	施策	事業 番号	担当課	原課(室)における事業名	活動指標名	27年目標 実績	28年目標 実績	29年目標 実績	30年目標 実績	30年目標 予定	令和元年(平成 31年度)目標	令和6年(平成36 年度)目標
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	21 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援	65	公民協働推進室	和泉ボランティア・市民活動センター アイ・あいロビー 管理運営事業	市民活動の推進のために開催した講座や交流会等参加者数	855人	2,227人	2,249人	1,644人	740人	750人	800人
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	21 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援	65	人権・男女参画室	男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業の実施	助成金事業の応募団体数	5団体	6団体	4団体	8団体	10団体	12団体	15団体
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	21 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援	66	公民協働推進室	和泉ボランティア・市民活動センター アイ・あいロビー 管理運営事業	アイ・あいロビー登録ボランティア男性比率 男性÷全登録人数×100	38.5%	35.3%	40.7%	38.5%	50%	50%	50%
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	21 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援	66	福祉総務課	和泉市地域福祉推進事業	協議の場(地域懇談会)の開催小学校区数	10/21校区	13/21校区	20/21校区	21/21校区	12/21校区	全校区	全校区
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	22 男女共同参画の視点に立った防災体制の整備	67	公民協働推進室	市民防災啓発事業	出前講座の参加人数	440人	836人	854人	801人	800人	900人	1,200人
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	22 男女共同参画の視点に立った防災体制の整備	68	公民協働推進室	市民防災啓発事業	出前講座の参加人数(Ⅱ-8-22-67 再掲)	440人	836人	854人	801人	800人	900人	1,200人
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	22 男女共同参画の視点に立った防災体制の整備	68	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の実施	定員に対する参加率	68%	50%	71%	89%	100%	100%	100%
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	22 男女共同参画の視点に立った防災体制の整備	69	公民協働推進室	市民防災育成事業	防災リーダー認定者数	46人	49人	45人	34人	40人	100人	100人
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	23 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり	71	高齢介護室	街かどデイハウス	街かどデイハウス利用者数	3,931人	3,539人	3,742人	3,540人	4,164人	4,785人	4,895人
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	23 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり	71	高齢介護室	ふれあい食事サービス助成事業	食事サービス受給者数	169人	177人	87人	120人	100人	340人	490人
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	23 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり	71	高齢介護室	老人クラブ活動補助事業	老人クラブの女性会員数の増加	14,536人(うち女性8,522人)	14,283人(うち女性8,463人)	13,901人(うち女性5,709人)	13,408人(うち女性7,890人)	15,000人(うち女性上昇)	16,194人(うち女性上昇)	16,566人(うち女性上昇)
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	23 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり	73	建築住宅課	市営住宅建替事業	バリアフリー化戸数	H31目標に向け設計	H31目標に向け工事着手	H31目標に向け工事中	H31目標に向け工事完了	H31目標に向け工事中	95戸	523戸
基本目標Ⅱ	8 男女共同参画で進める地域づくり	23 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり	73	道路河川室	交通安全施設整備事業	整備路線数	-	H31年目標に向け設計を実施	2路線工事実施	3路線工事実施	3路線工事予定	8路線	8路線
基本目標Ⅲ	9 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援	24 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)という考え方の推進	76	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくり講座の実施(ワーク・ライフ・バランスに関する講座)	定員に対する参加率	72%	70%	70%	57%	100%	100%	100%
基本目標Ⅲ	9 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援	24 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)という考え方の推進	77	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくり講座の実施(子どもサイエンスキャンパス)	定員に対する参加率	82%	62%	102%	92%	100%	100%	100%

男女共同参画行動計画(オアシスプラン)活動指標 平成27年度～平成30年度経年比較表

基本 目標 番号	施策の方向	施策	事業 番号	担当課	原課(室)における事業名	活動指標名	27年目標 実績	28年目標 実績	29年目標 実績	30年目標 実績	30年目標 予定	令和元年(平成 31年度)目標	令和6年(平成36 年度)目標
基本 目標 Ⅲ	9 ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)実 現のための支援	24 ワーク・ライフ・バ ランス(仕事と生活の 調和)という考え方の 推進	77	人権・男女 参画室	男性学講座の実施	定員に対する参加率	160%	103%	54%	80%	100%	100%	100%
基本 目標 Ⅲ	9 ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)実 現のための支援	25 男性も女性も、仕 事と子育てや介護の 両立ができる環境の 整備	79	こども未来室	一時預かり、障がい児保育、 延長保育、休日保育、夜間保 育、病後児保育事業	保育所等運営事業所数	69か所	75か所	73か所	74か所	74か所	74か所	74か所
基本 目標 Ⅲ	9 ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)実 現のための支援	25 男性も女性も、仕 事と子育てや介護の 両立ができる環境の 整備	81	人権・男女 参画室	男女共同参画社会づくり講座 の実施 (子育て応援講座)	定員に対する参加率	75%	62%	102%	92%	100%	100%	100%
基本 目標 Ⅲ	9 ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)実 現のための支援	25 男性も女性も、仕 事と子育てや介護の 両立ができる環境の 整備	82	高齢介護 室	地域出張型在宅医療介護セ ミナー (H27年度まで入退院支援家 族教室)	地域出張型在宅医療介護セミ ナー開催数(H27年度まで 入退 院支援家族教室) 平成30年度より第7期介護保険 計画に合わせて目標値を開催数 から受講者数に変更(平成28年 からののべ数)	8回	4回	3回	710人	350人	420人	785人
基本 目標 Ⅲ	9 ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)実 現のための支援	25 男性も女性も、仕 事と子育てや介護の 両立ができる環境の 整備	83	人事課	職員が子育てや介護しやす い勤務環境を整備する	男性の育児休暇取得率	4.2%	0%	8%	0%	10%	上昇	10%
基本 目標 Ⅲ	10 自立した暮らしのため の支援	27 困難を抱える人々 が安定して生活でき るための支援	88	高齢介護 室	シルバー人材センター運営補 助事業の実施	シルバー人材センターの登録者 数	1,849人	1,796人	1,729人	1,751人	1,837人	1,899人	1,942人
基本 目標 Ⅲ	10 自立した暮らしのため の支援	27 困難を抱える人々 が安定して生活でき るための支援	90	福祉総務課	生活困窮者自立支援	自立支援計画策定件数	59件	67件	55件	70件	70件	240件	280件
基本 目標 Ⅲ	11 生涯を通じた心身の 健康づくりの支援	28 生涯を通じた心身 の健康保持・増進	91	人権・男女 参画室	男女共同参画社会づくり講座 の実施 (女性の健康保持に関する講 座)	定員に対する参加率	90%	97%	100%	90%	100%	100%	100%
基本 目標 Ⅲ	11 生涯を通じた心身の 健康づくりの支援	28 生涯を通じた心身 の健康保持・増進	92	人権・男女 参画室	男女共同参画社会づくり講座 の実施 (女性の健康保持に関する講 座) (再掲Ⅲ-11-28-91)	定員に対する参加率	90%	97%	100%	90%	100%	100%	100%
基本 目標 Ⅲ	11 生涯を通じた心身の 健康づくりの支援	28 生涯を通じた心身 の健康保持・増進	93	健康づくり 推進室	各種検診(健診)、健康教育・ 相談事業	①乳がん検診受診率 ②子宮がん検診受診率	①25.8% ②27.8%	①24.9% ②26.2%	①26.2% ②28.2%	①29.0% ②29.6%	①②上昇	①、②上昇	①40% ②35%
基本 目標 Ⅲ	11 生涯を通じた心身の 健康づくりの支援	28 生涯を通じた心身 の健康保持・増進	95	健康づくり 推進室	自殺予防対策事業	人口10万人おける自殺による死 亡者数	22.5人	22.5人	21.2人	19.9人	減少	19.3人以下	減少
基本 目標 Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	29 暴力を容認しない 社会風土の醸成	99	人権・男女 参画室	男女共同参画社会づくり講座 の実施 (女性に対する暴力をなくす 啓発事業)	定員に対する参加率	70%	65%	113%	77%	100%	100%	100%
基本 目標 Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	29 暴力を容認しない 社会風土の醸成	100	人権・男女 参画室	男女共同参画週間事業の実 施	定員に対する参加率	77%	78%	57%	77%	100%	100%	100%

男女共同参画行動計画(オアシスプラン)活動指標 平成27年度～平成30年度経年比較表

基本 目標 番号	施策の方向	施策	事業 番号	担当課	原課(室)における事業名	活動指標名	27年目標 実績	28年目標 実績	29年目標 実績	30年目標 実績	30年目標 予定	令和元年(平成 31年度)目標	令和6年(平成36 年度)目標
基本 目標 Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	29 暴力を容認しない 社会風土の醸成	101	人権・男女 参画室	男女共同参画社会づくり講座 の実施 (女性に対する暴力をなくす 啓発事業) (再掲Ⅳ-12-29-99)	定員に対する参加率	70%	65%	113%	77%	100%	100%	100%
基本 目標 Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	29 暴力を容認しない 社会風土の醸成	101	教育委員 会指導室	暴力によらない解決ブックレット の活用	市内小中学校数に対する学習機 会を実施している学校数	9校/31校	10校/31校	11/30校	10/30校	30/30校	全小中学校	全小中学校
基本 目標 Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	30 性犯罪等の防止 対策及び暴力に対応 する相談窓口や支援 機関の周知	104	公民協働 推進室	地域防犯対策事業	性犯罪・ひったくり・路上強盗・自 動車関連犯罪の件数(28年度ま では街頭犯罪7手口・強制わい せつの件数となる。)	887件	862件	669件	342件	300件	1,183件	1,123件
基本 目標 Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	30 性犯罪等の防止 対策及び暴力に対応 する相談窓口や支援 機関の周知	105	公民協働 推進室	地域防犯対策事業	防犯キャンペーン実施回数	24回	25回	19回	25回	25回	20回	22回
基本 目標 Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	30 性犯罪等の防止 対策及び暴力に対応 する相談窓口や支援 機関の周知	105	公民協働 推進室	地域防犯対策事業	防犯教室開催回数	13回	13回	11回	15回	13回	13回	14回
基本 目標 Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	31 セクシュアル・ハラ スメント等防止対策の 推進	106	人事課	セクハラ防止対策相談窓口 の周知	セクハラ事案の発生件数	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件
基本 目標 Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	31 セクシュアル・ハラ スメント等防止対策の 推進	108	人事課	セクハラ防止研修	セクハラ事案の発生件数	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件
基本 目標 Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	31 セクシュアル・ハラ スメント等防止対策の 推進	108	消防総務 課	研修等への参加促進	研修等への参加率	100%	100%	70%	83.4%	50%	50%	50%
基本 目標 Ⅳ	12 あらゆる暴力の根絶	31 セクシュアル・ハラ スメント等防止対策の 推進	108	上下水道 部経営総 務課	職員研修への参加促進	職員研修への参加率	10%	10%	15%	12.5%	50%	50%以上	50%以上

第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)施策及び実績報告 平成27年度～平成30年度経年比較表

基本目標Ⅰ 男女平等の意識を育む施策の方向 施策の方向 1 学校・園における男女平等教育の推進
施策① 男女平等教育の推進

No	事業
1	各幼稚園・学校や保育所で、男女平等教育推進計画並びに保育計画を策定し、園や学校、保育活動での取組、教職員等の研修、保護者への働きかけ等を積極的に推進し、教育・保育環境を整備します。 ◆保育計画に基づく人権の視点からの男女平等教育の実践と共有 ◆人権教育推進計画に基づく教育活動の取組とその評価・公表 ◆ユニバーサル・デザインに基づく学校施設の整備・改善

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

平成27年度 実施状況(事業報告)	平成28年度 実施状況(事業報告)	平成29年度 実施状況(事業報告)	平成30年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
・色を選ぶ時は、全ての色の中から子どもたちが好きな色を選び、選んだ色を尊重し、男の子の色、女の子の色と決めけない感覚を育てる。 ・色に限らず、おもちゃや遊びについても、男の子、女の子による分け方はないことを子どもたちが自然に感じながら育つよう、保育士や教師などがその場に応じた言葉がけをおこなう。 ・劇遊びの配役では、どの役についても男の役、女の役と決めず、子どもたちが、なりたい役を選び、劇遊びなどを楽しむ。 ・卒園式では、男女を分けない50音順に並ぶ。 ・「男は泣いたらあかん」等の発言がある場合は、子どもたちと一緒に考える場をもち、子どもたち自身が男女平等ということに気づけるようにする。	・色やおもちゃや遊び等において、男女による区別がないように取り組み、子どもたちが思いのまま感じられるようにした。(色の選択、遊びの選択、順番決定時、劇遊びの配役等) ・「男は…」 「女は…」等の発言がある場合は、子どもたちと一緒に考える場をもち、子どもたち自身が男女平等ということに気づけるようにした。	・色やおもちゃや・遊び等において、男女による区別がないように取り組み、子どもたちが思いのまま感じられるようにする。(色の選択、遊びの選択、順番決定時、劇遊びの配役等) ・「男は…」 「女は…」等の発言がある場合は、子どもたちと一緒に考える場をもち、子どもたち自身が男女平等ということに気づけるようにした。	・環境(色・玩具等)や色々な遊びにおいて、男女による区別がないように取り組み、子どもたちが思いのまま感じられるよう保育活動や環境を整えた。(色の選択、遊びの選択、順番決定時、劇遊びの配役等) ・生活の中で、「男は…」 「女は…」等の発言がある場合は、子どもたちと一緒に、男女の区別なく「自分らしく」と考える場を持ち、子どもたち自身が男女平等ということに気づけるようにした。	1	3	1 1 1	長年、日常の保育・教育の場面で取り組みを継続している。	2	こども未来室
各小・中学校で男女平等教育推進計画を含む人権教育推進計画を策定し、それに基づいた教育活動を推進した。	各小・中学校で男女平等教育推進計画を含む人権教育推進計画を策定し、それに基づいた教育活動を推進した。	各小・中学校で男女平等教育推進計画を含む人権教育推進計画を策定し、それに基づいた教育活動を推進した。	各学校園で男女平等教育推進計画を含む人権教育推進計画を策定し、それに基づいた教育活動を推進した。	2	3	3 1 1	男女平等教育を推進するため、引き続き人権教育推進計画を策定するとともに、実績報告の内容を分析し、次年度の計画に反映させる。	2	教育委員会指導室
平成27年度の施設改修において、配慮すべき箇所が無いが検討を行った。 (学校施設の擁壁改修工事や体育館非構造部材改修工事等の実施した改修工事では、特段、必要とする項目が無かったため、具体的実施はなかった。)	学校施設について利用者への配慮も含め可能な限りユニバーサル・デザインを取り入れた。1例としては、トイレの男女別の標識について「コダイ・ロマン」で表示した。しかし、高齢者や初めて学校に來校した保護者などからはわかりにくいとの指摘もある。	学校施設について利用者への配慮も含め可能な限りユニバーサル・デザインを取り入れた。トイレ改修などにおいても誰でも使用しやすいように、導線の確保や段差の解消を行う施工を行った。公共施設の観点から児童・生徒の施設利用だけに特化するものではなく、年齢・性別・障がいの有無に関係なく誰でも使用しやすいような施工をこころがけている。	学校施設について利用者への配慮も含め可能な限りユニバーサル・デザインを取り入れた。トイレ改修などにおいて、男女別の標識について「コダイ・ロマン」で表示したり、誰でも使用しやすいように、導線の確保や段差の解消を行う施工を行った。公共施設の観点から児童・生徒の施設利用だけに特化するものではなく、年齢・性別・障がいの有無に関係なく誰でも使用しやすいような施工をこころがけている。	1	3	1 1 1	学校施設を利用する市民に利用しやすい環境整備を優先する必要がある、ユニバーサル・デザインに基づく視点をどの程度取り入れるかが課題である。	2	教育委員会教育総務室

No	事業
2	「男女平等教育推進モデル校(園)」においては、当事者である子どもと教職員への振り返り調査を実施し、男女平等教育モデル校(園)での成果を1年ごとにまとめ、公表するとともに、次年度の取組に活かします。 ◆モデル校の実践の発信

【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。				【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3.)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。					
平成27年度 実施状況(事業報告)	平成28年度 実施状況(事業報告)	平成29年度 実施状況(事業報告)	平成30年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
推進モデル校園(幸幼稚園、横山小学校、南横山小学校、横尾中学校)が取組みをまとめた冊子を作成し、小中学校に配付した。	推進モデル校園(北松尾小学校、緑ヶ丘小学校、石尾中学校)が取組みをまとめた冊子を作成し、小中学校に配付した。	推進モデル校園(北松尾小学校、緑ヶ丘小学校、石尾中学校)が取組みをまとめた冊子を作成し、市内小中学校及び義務教育学校に配付した。	推進モデル校園(信太小学校、鶴山台北小学校、鶴山台南小学校、信太中学校)が取組みをまとめた冊子を作成し、市内小中学校及び義務教育学校、市立図書館に配付した。	1	2	1 1 1	同じ中学校区の4つの学校が合同で研修会を開き、3小学校では共通の教材を使って「LGBT」等の性的マイノリティへの理解を深めるための授業を行い、指導方法についての研究が進んだ。	2	教育委員会指導室

No	事業
3	教職員や保護者等が、デートDVや性犯罪(児童ポルノや児童虐待等)等についての認識を深めることができるよう情報提供します。 ◆教職員、保護者、子どもなど対象者に応じて選択し、大阪府から提供のポスター、パンフレット、データを提供 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。				【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。					
平成27年度 実施状況(事業報告)	平成28年度 実施状況(事業報告)	平成29年度 実施状況(事業報告)	平成30年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1)(2)(3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
大阪府府民文化部男女参画・府民協働課政策のリーフレット「知っていますか？デートDV」を各中学校に配付し、教職員や保護者への周知を依頼した。	大阪府府民文化部男女参画・府民協働課政策主催の「府内学校教職員のための研修」の広報を行い、教職員に周知した。	大阪府府民文化部男女参画・府民協働課政策主催の「府内学校教職員のための研修」の広報を6月に行い、教職員に周知した。	大阪府府民文化部男女参画・府民協働課政策主催の「府内学校教職員のための研修」の広報を6月と12月に行い、教職員に周知した。また、庁内のDV防止研修会の情報提供も行った。	2	3	1 1 1	研修案内を配付するだけでなく、府の研修で学んだことを伝達するなど、積極的に情報を提供する。	2	教育委員会指導室
・ 27年度はDVの講座として、大声を出す、脅迫する、行動を厳しく制限するなどの精神的な暴力はモラル・ハラスメントとよばれており、最近では、社会問題として取り上げられることが増えつつある。 モラル・ハラスメントは受けている本人やまわりの人も気づきにくいものだが、とても相手のことを傷つける行為である。フェミニストカウンセラーとして豊富な経験を持つ講師に、自分自身や家族や友人がその暴力に気づき、乗り越えるために何ができるかを学び、考える機会とするため講演会を実施した。 タイトル:カウンセラーが語るモラル・ハラスメント～暴力を見過ごさないために～ (参加人数24人/30人定員) ・デートDVを盛り込んだ男女共同参画啓発冊子を作成し、広報いずみ4月号とともに全戸配布した。	「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学法学部と共催し、デートDVを啓発するため、講演会を対象の年代の大学生が参加しやすい大学構内で実施した。 タイトル:デートDV 好きって気持ちでごまかしてない？縛られてない？ 開催日:平成28年11月18日(金) 参加人数:129人/200人定員	「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学と共催し、デートDVを啓発するため、デートDV対象の年代である大学生が参加しやすい大学構内で実施した。 タイトル:好きだから束縛？好きなのに暴力？～それってホントに恋愛ですか？～ 開催日:平成29年11月15日(水) 参加人数:226人/定員:200人	「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学と共催し、デートDVを啓発するため、デートDV対象の年代である大学生が参加しやすい大学構内で講演会を実施した。 タイトル:イマドキの恋愛事情を考える～暴力も束縛もない関係づくりのために～ 開催日:平成30年11月7日(水) 参加人数:153人/定員:200人	1	3	1 1 1	大学構内で講演会を実施することにより、より多くの学生を対象に意識の向上ができたと考える。引き続き桃山学院大学と連携し実施していきたい。	2	人権・男女参画室

No	事業
4	教職員や保護者等が、性的マイノリティ等についての認識を深めることができるよう情報提供します。 ◆学校に向けて文部科学省等からの啓発物等を提供 ◆男女共同参画センターの図書コーナー等での啓発

平成27年度 実施状況(事業報告)	平成28年度 実施状況(事業報告)	平成29年度 実施状況(事業報告)	平成30年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
						(1)	(2)	(3)			
・文部科学省からの「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」等の通達について学校に情報提供を行った。 ・小中学校の担当者対象の研修を行い、LGBTについての理解を深めた。	・文部科学省からの「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」教職員向け周知資料を、学校に情報提供を行い、その活用について周知を図った。 ・学校園の担当者及び管理職対象に、「性別違和(性同一性障害)の生徒に対する取組みについて」という題で、対象児童生徒に対して取組んだ実践を、当該校の学校長から講演していただいた。当日は、59名の教職員が参加し、LGBTについての理解を深めた。	・府教育庁が教職員向けのセクシュアル・ハラスメント防止指針を平成29年5月に改定した。性的マイノリティに関する項目が新たに数点加わっているので校長ヒアリング・研修会で繰り返し周知を行った。 ・学校園の担当者及び管理職対象に「性的マイノリティへの差別と偏見の所在」という題でトランスジェンダー当事者に講演していただいた。当日は、54名の教職員が参加し、LGBTについての理解を深めた。	・府教育庁が教職員向けのセクシュアル・ハラスメント防止指針を昨年度改定した。性的マイノリティに関する項目が新たに数点加わっているので校長ヒアリング・研修会で繰り返し周知を行った。 ・学校園の担当者及び管理職対象に「子どもが安心して過ごせる教育現場のために～セクシュアル・マイノリティとされる子どもへの配慮について～」という題でセクシュアル・マイノリティ当事者に講演していただいた。当日は、49名の教職員が参加し、LGBTについての理解を深めた。	1	2	1	1	1	今年度いくつかの学校や教頭会が講師を招いて研修会を開催するなど、教職員の意識が高まってきた。学校において性的マイノリティに対するハラスメントに限らず、あらゆるハラスメントをなくしていく取組みをすすめていく。	2	教育委員会指導室
モアイずみ通信10月号で「セクシャル・マイノリティ(LGBT)」について説明記事を掲載し、啓発した。 また、DVD「あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権」を貸出した。	性的マイノリティ関連情報を収集し、モアイずみ(和泉市男女共同参画センター)の掲示板に掲示し、啓発を行った。 また、男女共同参画センター図書コーナーにおいて、世界初の性別適合手術を受けたリリーの伝記映画であるDVD「リリーのすべて」等の貸出を行った。	・性的マイノリティ関連情報を収集し、モアイずみ(和泉市男女共同参画センター)の掲示板に掲示し、啓発を行った。 ・LGBTと言われる性的少数者に対する理解を深め職場における円滑なコミュニケーションを行うことで、快適な職場環境を作ることをめざす目的で、企業に理解を深めてもらうために開催した。 タイトル:誰もが働きやすい職場づくり～LGBTと職場の現状を知る～ 開催日:平成29年9月28日(木) 参加人数:57人/定員:80人	性的マイノリティ関連情報を収集し、モアイずみ(和泉市男女共同参画センター)の掲示板に掲示し、啓発を行った。 また、男女共同参画センター図書コーナーにおいて、『LGBTを読み解く～クィア・スタディーズ入門』等の貸出を行った。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、情報収集等に努め、LGBTの理解促進に一層の啓発を図る。	2	人権・男女参画室

No	事業
5	自らの身体と相手方の身体について正しい理解を深め、性に関する適切な態度や行動の選択ができるよう、発達段階に応じた性教育に取り組みます。 ◆保健体育や総合的な時間を利用して性教育を実施 ◆小中生活指導協議会でのアンケートの実施

平成27年度 実施状況(事業報告)	平成28年度 実施状況(事業報告)	平成29年度 実施状況(事業報告)	平成30年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
						(1)	(2)	(3)			
学習指導要領に基づき、小中9年間を見通した性教育に取り組んだ。 ○小学校1・2年…生命を大切にすることを(道徳) ○小学校3・4年…体の発育・発達についての理解(保健) ○小学校5・6年…思春期の体の変化や心の発達、不安や悩みへの対処についての理解、男女で助け合うこと(保健・道徳) ○中学校…生殖機能の成熟、性情報への対処、異性についての正しい理解や人格の尊重(保健・道徳・特活)	学習指導要領に基づき、小中9年間を見通した性教育に取り組んだ。 ・小学校1・2年…生命を大切にすることを(道徳) ・小学校3・4年…体の発育・発達についての理解(保健) ・小学校5・6年…思春期の体の変化や心の発達、不安や悩みへの対処についての理解、男女で助け合うこと(保健・道徳) ・中学校…生殖機能の成熟、性情報への対処、異性についての正しい理解や人格の尊重(保健・道徳・特活)	学習指導要領に基づき、小中9年間を見通した性教育に取り組んだ。 ○小学校1・2年…生命を大切にすることを(道徳) ○小学校3・4年…体の発育・発達についての理解(保健) ○小学校5・6年…思春期の体の変化や心の発達、不安や悩みへの対処についての理解、男女で助け合うこと(保健・道徳) ○中学校…生殖機能の成熟、性情報への対処、異性についての正しい理解や人格の尊重(保健・道徳・特活)	学習指導要領に基づき、小中9年間を見通した性教育に取り組んだ。 ○小学校1・2年…生命を大切にすることを(道徳) ○小学校3・4年…体の発育・発達についての理解(保健) ○小学校5・6年…思春期の体の変化や心の発達、不安や悩みへの対処についての理解、男女で助け合うこと(保健・道徳) ○中学校…生殖機能の成熟、性情報への対処、異性についての正しい理解や人格の尊重(保健・道徳・特活)	2	3	1	1	1	男性、女性について学ぶだけでなく、性の多様性を意識しながら、取組みを進めていく。	2	教育委員会指導室
和泉市小中生活指導研究協議会事務局で、小学4年生から中学3年生を対象に、性に関する事項を含めた「自分の安全」のアンケートを作成し、全小中学校で実施(9～10月)した。集計結果は学校校務システム内の共有フォルダに保存され、各学校の教員が見られるようになっており、学校通信や生徒指導、長期休業前の保護者等への「休みの過ごし方」啓発文書等で、各校での活用を指示した。	和泉市小中生活指導研究協議会事務局で、小学4年生から中学3年生を対象に、性に関する事項を含めた「自分の安全」のアンケートを作成し、全小中学校で実施(9～10月)した。集計結果は学校校務システム内の共有フォルダに保存され、各学校の教員が見られるようになっており、学校通信や生徒指導、長期休業前の保護者等への「休みの過ごし方」啓発文書等で、各校での活用を指示した。	和泉市小中生活指導研究協議会事務局で、小学4年生から中学3年生を対象に、性に関する事項を含めた「安全意識」のアンケートを作成し、全学校園で実施(9～10月)した。集計結果は、各学校園の教員が見られるようになっており、学校通信や生徒指導、長期休業前の保護者等への「休みの過ごし方」啓発文書等で、各校での活用を指示した。	和泉市小中生活指導研究協議会事務局で、小学4年生から中学3年生を対象に、性に関する事項を含めた「安全意識」のアンケートを平成24年度から平成29年度まで実施した。その結果から、携帯電話・スマートフォンを利用する時に気をつけなければならないことをまとめ、長期休業前の保護者等への「休みの過ごし方」啓発文書等で周知した。	2	3	3	1	1	市内全学校園で小学4年生から中学3年生の児童生徒と保護者を対象に6年間アンケートを実施してきた。アンケート結果が固定化されてきたので、今年度はアンケート実施は見送った。来年度以降も、6年間のアンケート結果から得た実態をもとに、携帯電話・スマートフォンの利用の方法について啓発を続けていく。	3	教育委員会指導室

No	事業
6	市民活動等と連携し、子どもたちが暴力の被害者にも加害者にもなることを防ぐための情報や学習機会の提供を定期的に行います。 ◆教職員対象に人が本来持っている生きる力を湧き出させる研修の実施 ◆子ども対象の「犯罪防止教室」の実施 ◆「被害者救済システム」の周知 ◆保育所・幼稚園における「不審者侵入対処訓練」の実施 ◆保育所・幼稚園における「こどもたちに伝える5つの約束」の徹底

平成27年度 実施状況(事業報告)	平成28年度 実施状況(事業報告)	平成29年度 実施状況(事業報告)	平成30年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【本年度の事業実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。				【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1 強化・充実 2 継続 3 改善・見直し 4 縮小 5 廃止	担当課
									(1)	(2)	(3)			
子どもが外出した際に自分の身を守る方法や、携帯電話・スマートフォン等によってトラブルに巻き込まれないようにするための方法について、各学校で子どもたちに確認するように指示した。	子どもが外出した際に自分の身を守る方法や、携帯電話・スマートフォン等によってトラブルに巻き込まれないようにするための方法について、各学校で子どもたちに確認するように指示した。	子どもが外出した際に自分の身を守る方法や、携帯電話・スマートフォン等によってトラブルに巻き込まれないようにするための方法について、各学校で子どもたちに確認するように指示した。	子どもが外出した際に自分の身を守る方法や、携帯電話・スマートフォン等によってトラブルに巻き込まれないようにするための方法について、各学校で子どもたちに確認するように指示した。	2	3	1	1	1				携帯電話・スマートフォン等の使用によりトラブルに巻き込まれないように新たな情報を提供していく。	2	教育委員会指導室
全小中学校で、警察や薬剤師会等と連携して「犯罪防止教室」「非行防止教室」「薬物乱用防止教室」等を実施した。 小学校では、警察と連携して「非行防止教室」を小5対象に全小学校で実施した。 中学校では、警察や少年サポートセンターと連携して「犯罪防止教室」か「非行防止教室」を全中学校で実施した。 「薬物乱用防止教室」については、薬剤師会等と連携して全小中学校で実施した。	全小中学校で、警察や薬剤師会等と連携して「犯罪防止教室」「非行防止教室」「薬物乱用防止教室」等を実施した。 小学校では、警察と連携して「非行防止教室」を小5対象に全小学校で実施した。 中学校では、警察や少年サポートセンターと連携して「犯罪防止教室」か「非行防止教室」を全中学校で実施した。 「薬物乱用防止教室」については、薬剤師会等と連携して全小中学校で実施した。	全小中学校で、警察や薬剤師会等と連携して「犯罪防止教室」「非行防止教室」「薬物乱用防止教室」等を実施した。 小学校では、警察と少年サポートセンターと連携して「非行防止教室」を小5・小6対象に全小学校で実施した。 中学校では、警察や少年サポートセンターと連携して「犯罪防止教室」か「非行防止教室」を全中学校で実施した。 「薬物乱用防止教室」については、薬剤師会等と連携して全小中学校で実施した。	全小中学校で、警察や薬剤師会等と連携して「犯罪防止教室」「非行防止教室」「薬物乱用防止教室」等を実施した。 小学校では、警察と少年サポートセンターと連携して「非行防止教室」を小5・小6対象に全小学校で実施した。 中学校では、警察や少年サポートセンターと連携して「犯罪防止教室」か「非行防止教室」を全中学校で実施した。 「薬物乱用防止教室」については、薬剤師会等と連携して全小中学校で実施した。	2	3	3	2	2				今後も全学校園で取り組んでいく。	3	教育委員会指導室
校長会や研修の場で、「被害者救済システム」について周知した。 学校でのポスター掲示や担任からの連絡を通じて子どもへの周知を行った。	校長会や研修の場で、「被害者救済システム」について周知した。 学校でのポスター掲示や担任からの連絡を通じて子どもへの周知を行った。	校長会や研修の場で、平成29年12月に改定された「被害者救済システム」について周知した。 学校でのポスター掲示や担任からの連絡を通じて子どもへの周知を行った。	校長会や研修の場で、昨年度改定された「被害者救済システム」について周知した。 学校では「被害者救済システム」に基づく「子ども家庭相談室」の広報用カードを小学1年生と中学1年生全員に配付した。	2	3	1	1	1				今後も周知を徹底していく。	2	教育委員会指導室
年間計画のとおり、各園にて、いろいろな場面を想定した不審者侵入対処訓練を実施した。 園外保育時、日常の時間帯、午睡後、土曜日の午後など、いつ起こるかかわからない不審者侵入を想定して訓練を実施した。 送迎時には、その場にいる保護者に一緒に参加していただいたり、公園では、まわりにいる人に訓練であることの声かけをして実施し、訓練の様子を知っていただいたりした。	年間計画のとおり、各園にて、いろいろな場面を想定した不審者侵入対処訓練を実施した。 園外保育時、日常の時間帯、午睡後、土曜日の午後など、いつ起こるかかわからない不審者侵入を想定して訓練を実施した。 送迎時には、その場にいる保護者に一緒に参加していただいたり、公園では、まわりにいる人に訓練であることの声かけをして実施し、訓練の様子を知っていただいたりした。	・年間計画のとおり、各園にて、いろいろな場面を想定した不審者侵入対処訓練を実施した。 園外保育時、日常の時間帯、午睡後、土曜日の午後など、いつ起こるかかわからない不審者侵入を想定して訓練を実施した。 ・送迎時には、その場にいる保護者に一緒に参加していただいたり、公園では、まわりにいる人に訓練であることの声かけをして実施し、訓練の様子を知っていただいたりした。	・年間計画のとおり、各園にて、いろいろな場面を想定した不審者侵入対処訓練を実施した。 園外保育時、日常の時間帯、午睡後、土曜日の午後など、いつ起こるかかわからない不審者侵入を想定して訓練を実施し、見えてきた課題などを職員間で話し合う時間を作った。 ・送迎時には、その場にいる保護者に一緒に参加していただいたり、公園では、まわりにいる人に訓練であることの声かけをして実施し、訓練の様子を知っていただいたりした。	2	3	1	1	1				いろいろな場面や職員体制、時間帯など想定して実施した。 幼稚園の訓練を目標回数、実施できた。	2	こども未来室
・こども未来室で保管し貸し出していた「5つの約束」のDVDを平成26年度末に保育園10園に配布。 2歳児以上の年齢で、視聴する。 ・不審者対処訓練の一つとして、職員による人間劇を実施し、知らない人にはついていけないという内容を子どもたちにわかりやすく伝える。また、その日の子どもたちの様子を保護者に伝え、保護者にも子どもたちを暴力から守ることを考えていただく機会になるようにする。 ・「5つの約束」の看板を各園のフェンスに取り付けて、保護者に周知している。	・「5つの約束」のDVDを平成26年度末に各園に配布しており、視聴した。 ・不審者対処訓練の一つとして、紙芝居・職員劇等で、子どもたちにわかりやすく伝える。また、その日の子どもたちの様子を保護者に伝え、子どもたちを暴力から守ることの大切さを保護者にも考えていただく機会になるようにした。	・「5つの約束」のDVDを各園に配布しており、視聴した。 ・不審者対処訓練の一つとして、紙芝居・職員劇等で、子どもたちにわかりやすく伝える。また、その日の子どもたちの様子を保護者に伝え、子どもたちを暴力から守ることの大切さを保護者にも考えていただく機会になるようにした。	・「5つの約束」のDVDを各園に配布しており、視聴した。 ・不審者対処訓練の一つとして、紙芝居・職員劇等で、子どもたちにわかりやすく伝える。また、その日の子どもたちの様子を保護者に伝え、子どもたちを暴力から守ることの大切さを保護者にも考えていただく機会になるようにした。	2	3	1	1	1				5つの約束の看板ポスターを掲示している。 保護者からの相談時にも伝えた。	2	こども未来室

施策② 一人ひとりの自立・職業意識を育む教育の推進

No	事業
7	キャリア教育をする上で重要な取組という観点に立って職場体験学習を実施するために、教職員に対してキャリア教育に関する情報や学習機会を提供します。 ◆キャリア教育担当者の研修の実施

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

平成27年度 実施状況(事業報告)	平成28年度 実施状況(事業報告)	平成29年度 実施状況(事業報告)	平成30年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
市キャリア教育担当者研修(12月15日) ・キャリア教育全体指導計画の活用について、キャリア教育の年度末反省及び来年度に向けて 参加者…13名(各中学校区から1名以上) 泉北3市1町キャリア教育担当者研修(2月4日) ・講師より「キャリア教育における見取りと点検」をテーマに講義、中学校区の担当者ごとの交流 参加者…和泉市からは26名	・各中学校区でキャリア教育担当者が、全体指導計画の見直し等について検討を行うにあたり、指導主事が指導助言を行った。 ・泉北3市1町キャリア教育担当者研修(2月28日) 講師より「キャリア教育における見取りと点検」をテーマに講義、中学校区の担当者ごとの交流 参加者…和泉市からは25名	・各中学校区及び義務教育学校の小中一貫教育研修(キャリア部会)において、指導主事が指導助言を行った。 ・泉北3市1町キャリア教育担当者研修を実施し、「小中9年間を見通したキャリア教育をどう進めるか」についての講義及びグループワークを行った。 参加者…和泉市からは30名	泉北3市1町キャリア教育担当者研修会を実施し、「キャリア教育の推進にむけて」というテーマで講義及びグループワークを行った。 参加者…和泉市からは30名	2	3	1 1 1	子どもたちの自立・職業意識を育むために、今後も教職員対象のキャリア教育に係る研修を充実させていく。	2	教育委員会指導室

No	事業
8	子どもの発達段階に応じて、性別に捉われることなく自らの生き方を考え、自分の意志と責任で進路を選択・決定する能力・態度を身につけることができるよう、キャリア教育の指導計画を作成し、それに基づいた進路指導を行います。 ◆中学校区における「キャリア教育全体指導計画」の策定 ◆中学校への職場体験学習実施のための情報提供

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

平成27年度 実施状況(事業報告)	平成28年度 実施状況(事業報告)	平成29年度 実施状況(事業報告)	平成30年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
中学校区単位で策定した「キャリア教育年間指導計画」に基づいた取組みを進め、成果と課題を踏まえて計画の見直し・改善を行った。	中学校区単位で策定した「キャリア教育全体指導計画」に基づいた取組みを進め、成果と課題を踏まえて計画の見直し・改善を行った。	中学校区単位・義務教育学校区で策定した「キャリア教育全体指導計画」に基づいた取組みを進め、成果と課題を踏まえて計画の見直し・改善を行った。	中学校区単位・義務教育学校区で策定した「キャリア教育全体指導計画」に基づいた取組みを進め、成果と課題を踏まえて計画の見直し・改善を行った。	2	3	3 2 2	全体指導計画を見直す中で、男女共同参画の視点があるかを確認する。	2	教育委員会指導室
校長会や進路担当者会議において、職場体験学習に向けての指導や進路指導について、情報提供及び指示をした。 具体的には、市役所内での職場体験について、各中学校の体験実施希望時期や人数を集約し、庁内各課に依頼し行った。 また、大型商業施設(ららぽーと、コストコ)についても、各中学校の体験希望を集約し、商工労働室と連携のもと、様々な事業所に体験を依頼することができた。	校長会や進路担当者会議(月1回)において、職場体験学習に向けての指導や進路指導について、情報提供及び指示をした。 具体的には、市役所内での職場体験について、各中学校の体験実施希望時期や人数を集約し、庁内各課に依頼し行った。 また、大型商業施設(ららぽーと、コストコ、ビバホーム)についても、各中学校の体験希望を集約し、商工労働室と連携のもと、様々な事業所に体験を依頼することができた。	校長会や進路担当者会議(月1回)において、職場体験学習に向けての指導や進路指導について、情報提供及び指示をした。 具体的には、市役所内での職場体験について、各中学校の体験実施希望時期や人数を集約し、庁内各課に依頼した。 また、大型商業施設(ららぽーと、コストコ、ビバホーム)についても、各中学校の体験希望を集約し、様々な事業所に体験を依頼することができた。	校長会や進路担当者会議(月1回)において、職場体験学習に向けての指導や進路指導について、情報提供及び指示をした。 具体的には、市役所内での職場体験について、各中学校の体験実施希望時期や人数を集約し、庁内各課に依頼した。 また、大型商業施設(コストコ、ビバホーム)や市立図書館についても、各中学校の体験希望を集約し、様々な事業所に体験を依頼することができた。	1	2	3 1 1	子どもたちが、性別にとらわれることなく自らの生き方を考えることができるよう、職場体験に向けた取組みや進路指導を工夫していく。	2	教育委員会指導室

No	事業									
9	特に、女子や障がいのある人について、厳しい就業状況を踏まえ一人ひとりに対応した支援をします。 ◆支援学校や障がい者施設との連携の充実 ◆日中活動系事業所の情報提供									

平成27年度 実施状況(事業報告)	平成28年度 実施状況(事業報告)	平成29年度 実施状況(事業報告)	平成30年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	(1)	(2)	(3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
校長会や進路指導担当者会議において、将来の就労のために必要な進路情報を周知し指導を行った。また、児童発達支援ネットワーク会議等、支援学校、関係機関、障がい者施設との連携の充実に努めた。	校長会や進路指導担当者会議において、将来の就労のために必要な進路情報を周知し指導を行った。また、支援学校、関係機関、障がい者施設との連携の充実に努めた。	校長会や進路指導担当者会議において、将来の就労のために必要な進路情報を周知し指導を行った。また、支援学校、関係機関、障がい者施設との連携の充実に努めた。	校長会や進路指導担当者会議において、将来の就労のために必要な進路情報を周知し指導を行った。また、支援学校、関係機関、障がい者施設との連携の充実に努めた。	2	3	1	1	1		支援学校への進学にあたり、学校見学・学校体験を十分するように指示し、中学校(義務教育学校)と支援学校との間で、生徒の情報共有も行った。	2	教育委員会指導室
基幹相談支援センター・委託相談支援センター等において、日中活動系事業所に通所を希望する障がい者に情報提供その他の支援を行った。また、就労を希望される場合には、就業・生活支援センターを紹介するなど、希望に応じた支援を行った。 基幹相談支援センターと委託相談支援事業所3か所で相談を受けた人数は合計698人(実人数)であり、うち、福祉サービスの利用等に関する支援が4,853件(延べ)、同行支援が55件(延べ)となっている。	基幹相談支援センター・相談支援事業所等において、日中活動系事業所に通所を希望する障がい者に情報提供やその他の支援を行った。また、就労を希望される場合には、障害者就業・生活支援センターを紹介するなど、希望に応じた支援をした。 基幹相談支援センターと委託相談支援事業所3ヶ所で相談を受けた人数は合計910人(実人数)であり、うち、福祉サービスの利用等に関する支援が4,711件(延べ)、同行支援が93件(延べ)となっている。	基幹相談支援センター・相談支援事業所等において、日中活動系事業所に通所を希望する障がい者に情報提供やその他の支援を行った。また、就労を希望される場合には、障害者就業・生活支援センター等を紹介するなど、希望に応じた支援をした。 また、基幹相談支援センターと相談支援事業所3ヶ所で相談を受けた人数は合計429人(実人数)であり、うち、福祉サービスの利用等に関する支援が2,122件(延べ)、同行支援が57件(延べ)となっている。	基幹相談支援センター・相談支援事業所等において、日中活動系事業所に通所を希望する障がい者に情報提供やその他の支援を行った。また、就労を希望される場合には、障害者就業・生活支援センター等を紹介するなど、希望に応じた支援をした。 基幹相談支援センターと相談支援事業所3ヶ所で相談を受けた人数は、合計397人(実人数)であり、その支援内容と件数は、福祉サービスの利用等に関する支援が2,083件(延べ件数)、不安の解消・情緒安定に関する支援が647件(延べ件数)等となっている。	2	3	3	1	1		引き続き、障がい者が通所等を希望される場合には、適切に支援をする。	2	障がい福祉課

No	事業									
10	市役所においてインターンシップを受け入れます。 ◆インターンシップ事業 ◆桃山学院大学生インターンシップの受け入れ									

平成27年度 実施状況(事業報告)	平成28年度 実施状況(事業報告)	平成29年度 実施状況(事業報告)	平成30年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	(1)	(2)	(3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会との連携により、桃山学院大学の学生2名を下記のとおりインターンシップとして受け入れた。 総務管財室・・・平成27年8月10日～21日(男性1名) 読書振興課・・・平成27年8月17日～29日(女性1名)	堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会との連携により、帝塚山学院大学、大阪府立大学の学生2名を下記のとおりインターンシップとして受け入れた。 政策企画室・・・平成28年8月 8日～15日(女性1名) 読書振興課・・・平成28年8月18日～23日(女性1名)	堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会との連携により、学生2名を下記のとおりインターンシップとして受け入れた。 商工労働室・・・平成29年8月7日(月)～平成29年8月18日(金) 読書振興課・・・平成29年8月17日(木)～平成29年8月24日(木) 【内訳】女性1名、男性1名	堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会との連携により、学生2名を下記のとおりインターンシップとして受け入れた。 都市政策課・・・平成30年8月10日～平成30年8月17日 読書振興課・・・平成30年8月27日～平成30年9月2日 【内訳】女性1名、男性1名	2	3	1	1	1		事業予定のとおり堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会との連携により2名のインターンシップの受け入れを行い、施策の推進に寄与した。	2	人事課
実習期間: H27年8月1日～8月14日 実習場所: モアいずみ(和泉市男女共同参画センター) 男子学生: 1人 実習内容: わくわくシネマの司会や講座の準備等の業務に携わる。	実習期間: H28年8月1日～8月14日 実習場所: モアいずみ(和泉市男女共同参画センター) 男子学生: 1人 実習内容: 講座の司会や講座の準備等の業務に携わる。	実習期間: H29年8月1日～8月14日 実習場所: モアいずみ(男女共同参画センター) 人数: 1人(男子学生) 実習内容: 男女共同参画デーの啓発のため、駅構内でのティッシュの配布や講座の準備等の業務に携わる。	学生の要望がなかったため実施しなかった。	4	4	3	2	2		今年度も引き続き、受け入れ体制を整え、業務に携わってもらいながら、男女共同参画について学ぶ機会の提供を行う。	2	人権・男女参画室
和泉シティプラザ内において、指定管理先である公共施設管理公社が桃山学院大学生のインターンシップの受け入れを行い、平成27年度は女性2名、男性1名の受け入れを行った。女性1名は生涯学習センターにて窓口業務、もう一人の女性は保険福祉センターで事務補助、男性1名は、男女共同参画センター(モアいずみ)にてイベントや事務補助の業務を行ってもらった。	和泉シティプラザ内において、指定管理先である公共施設管理公社が桃山学院大学生のインターンシップの受け入れを行い、平成28年度は女性1名、男性1名の受け入れを行った。女性1名はシティプラザ図書館にて窓口業務等の事務補助、男性1名は、生涯学習センターにて窓口業務等の事務補助の業務を行ってもらった。	和泉シティプラザ内において、指定管理先である公共施設管理公社が桃山学院大学生のインターンシップの受け入れを行い、平成29年度は女性2名、男性1名の受け入れを行った。女性のうち1名はシティプラザ図書館、1名は健康福祉センター、男性1名は男女共同参画センターで業務を行った。	和泉シティプラザ指定管理者の公共施設管理公社が桃山学院大学の学生の受け入れを行った。平成30年度は女性1名が保健福祉センター、男性2名が出張所でインターンシップを実施した。	2	3	2	2	2		今後も引き続き、公共施設管理公社と連携し、事業を行う。	2	生涯学習課

施策③ 教職員・保育士等の男女平等意識の向上

No	事業
11	教職員や保育士等が固定的な性別役割分担意識に捉われず、男女平等の意識を持って子どもたちを指導できるよう、研修の充実を図ります。 ◆校内推進体制確立のための校長会での意識づけ ◆乳幼児人権教育研究会による研修の実施

平成27年度 実施状況(事業報告)	平成28年度 実施状況(事業報告)	平成29年度 実施状況(事業報告)	平成30年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1進んだ 2やや進んだ 3現状維持 4進まなかった				成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1 強化・充実 2 継続 3 改善・見直し 4 縮小 5 廃止	担当課
					(1)	(2)	(3)				
全小中学校において、主に職員会議等の中で、男女平等教育についての研修(校外での研修の伝達、資料の周知を含む)を行った。	全小中学校において、主に職員会議等の中で、男女平等教育についての研修(校外での研修の伝達、資料の周知を含む)を行った。	全学校園において、男女平等教育についての研修(職員会議等の中での伝達、資料の周知を含む)を行った。	全学校園において、男女平等教育についての研修(職員会議等の中での伝達、資料の周知を含む)を行った。	1	3	3	1	1	各学校園で行っている研修内容を把握し指導・助言をしていく。	2	教育委員会指導室
乳幼児人権教育研究会による研修を年間4回実施 ・支援教育(北松尾幼稚園の実践) ・保護者支援のポイントを学ぶ…津村薫氏 ・個人情報と保育…渡邊徹氏 ・人権教育、幼児期から育てたい力…新保真紀子氏	乳幼児人権教育研究会による研修を年間4回実施 ・保育園の防災の取り組みについて…永田ひさ子氏・左官智子氏 ・虐待の現状と園の役割…河野朗久氏 ・支援や配慮が必要な子どもに係る保幼小連携について…糸魚川直祐氏 ・気になる子どもの理解と支援…小田浩伸氏	乳幼児人権教育研究会による研修を年間4回実施 ・「子どもが遊びを通して夢中になる保育」北池田幼稚園 ・「仲間づくり(人間関係づくり)」豊岡短期大学 原田敬文氏 ・「保護者への支援について」四恩学園 東野真人氏 ・「一人ひとりの障がいを理解し適切な支援を学ぶ」梅花女子大学 伊丹昌一氏	乳幼児人権教育研究会による研修を年間4回実施 ・「英語であそぼう」和泉市立小中学校 ALT サラ・デヨング氏 ・「子どものがんばりを支えるために」放課後児童ディ わおん 金井 孝明氏 ・「子どもの貧困問題と養育困難家庭への支援について 朝日新聞大阪支社 中塚 久美子氏 ・「個別支援と共生保育とは」 ちやいんどネット大阪「障がい共生保育」研究プロジェクト 運営スタッフ 杉本 節子氏	2	3	2	1	1	男女共同参画という点に特化していないが、人権を大切にしたいという点では、意識を高めることが出来た。	2	こども未来室

No	事業
12	小中学校に男女平等教育・人権教育担当者を置き、男女平等の視点に立った実践事例研修や男女平等教育の研修を推進します。 ◆各校に男女平等教育の担当教員の配置 ◆男女平等教育実践事例や指導事例集(府)を活用した校内研修

				【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。		【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。								
平成27年度 実施状況(事業報告)	平成28年度 実施状況(事業報告)	平成29年度 実施状況(事業報告)	平成30年度 実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1 進んだ 2 やや進んだ 3 現状維持 4 進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1 強化・充実 2 継続 3 改善・見直し 4 縮小 5 廃止	担当課	
					(1)	(2)	(3)							
各校で、人権教育担当教員とは別に男女平等教育の担当教員(1名以上)を置くように指示した。	各校で、人権教育担当教員とは別に男女平等教育の担当教員(1名以上)を置くように指示した。	各校で、人権教育担当教員とは別に男女平等教育の担当教員(1名以上)を置くように指示した。	各校で、人権教育担当教員とは別に男女平等教育の担当教員(1名以上)を置くように指示した。	1	3	1	1	1	今後も男女平等教育の担当者を置くよう指示する。			2	教育委員会指導室	
男女平等教育実践事例(本市)や指導事例集(大阪府)を活用した校内研修(実践の紹介や指導内容の工夫や改善等について)の推進を指示した。	男女平等教育実践事例(本市)や指導事例集(大阪府)を活用した校内研修(実践の紹介や指導内容の工夫や改善等について)の推進を指示した。	男女平等教育実践事例(本市)や指導事例集(大阪府)を活用した校内研修(実践の紹介や指導内容の工夫や改善等について)の推進を指示した。	男女平等教育実践事例(本市)や指導事例集(大阪府)を活用した校内研修(実践の紹介や指導内容の工夫や改善等について)の推進を指示した。	2	3	3	1	1	今後も研修を行うように指示していく。			2	教育委員会指導室	

No	事業																												
13	セクシュアル・ハラスメント、性犯罪に関する研修並びに今日的な課題に対して研修を実施します。 ◆各校の管理職・担当職員へのセクシュアル・ハラスメント防止や今日的課題に関する研修の実施																												
				【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。				【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。																					
平成27年度 実施状況(事業報告)				平成28年度 実施状況(事業報告)				平成29年度 実施状況(事業報告)				平成30年度 実施状況(事業報告)				今年度の事業実施度		【施策の進捗度】 1 進んだ 2 やや進んだ 3 現状維持 4 進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応			【今後の方向性】 1 強化・充実 2 継続 3 改善・見直し 4 縮小 5 廃止		担当課
管理職及び担当教員を対象として、市教委が主催のセクシュアル・ハラスメント防止研修を実施した。その後、各学校の校内研修の中で、研修資料をもとに管理職及び担当教員から伝達研修を行った。 SSWを講師とした研修や警察と連携した連絡会を実施している。 今年度の研修対象者は、67人で出席率は94%だった。				管理職及び担当教員を対象として、市教委が主催のセクシュアル・ハラスメント防止研修を実施した。その後、各学校の校内研修の中で、研修資料をもとに管理職及び担当教員から伝達研修を行った。 SSWを講師とした研修や警察と連携した連絡会を実施している。 今年度の研修対象者は、67人で、59人が出席し、出席率は88%だった。				管理職及び担当教員を対象として、市教委主催のセクシュアル・ハラスメント防止研修を実施した。その後、各学校の校内研修の中で、研修資料をもとに管理職及び担当教員から伝達研修を行った。 また、SSWを講師とした研修や警察と連携した連絡会を実施した。 今年度の研修対象者は、64人で、54人が出席し、出席率は84%だった。				管理職及び担当教員を対象として、市教委主催のセクシュアル・ハラスメント防止研修を実施した。その後、各学校の校内研修の中で、研修資料をもとに管理職及び担当教員から伝達研修を行った。 今年度の研修対象者は、64人で、49人が出席し、出席率は77%だった。				1	2	1	1	1				今年度は2月に実施したが、次年度は夏期休業から2学期の間に実施し、余裕をもって各学校園内での周知・研修をできるようにする。			2	教育委員会指導室	

施策④ 家庭での男女平等・男女共同参画の推進

No	事業																						
14	固定的な性別役割分担意識に捉われない家庭運営や子育てができるよう、保護者を対象に、男女平等や男女共同参画について学べる家庭教育に関する学習機会を提供します。 ◆モデル校(園)の実践報告会の実施 ◆保護者に対し、保育所・幼稚園における男女平等・男女共同参画推進のための保育の取組について積極的に情報提供を実施 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施																						
													【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。			【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。							
平成27年度 実施状況(事業報告)				平成28年度 実施状況(事業報告)				平成29年度 実施状況(事業報告)				平成30年度 実施状況(事業報告)				今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1進んだ 2やや進んだ 3現状維持 4進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1)(2)(3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1 強化・充実 2 継続 3 改善・見直し 4 縮小 5 廃止	担当課
各校でのPTAの中に、人権啓発委員会等を組織し、男女平等や男女共同参画を含めた人権学習(男女が互いを尊重することの大切さ等)に取組み、家庭・地域社会との連携のもとに人権意識の高揚に努めるよう指示した。				各校でのPTAの中に、人権啓発委員会等を組織し、男女平等や男女共同参画を含めた人権学習(男女が互いを尊重することの大切さ等)に取組み、家庭・地域社会との連携のもとに人権意識の高揚に努めるよう指示した。				各校でのPTAの中に、人権啓発委員会等を組織し、男女平等や男女共同参画を含めた人権学習(男女が互いを尊重することの大切さ等)に取り組み、家庭・地域社会との連携のもとに人権意識の高揚に努めるよう指示した。				各校でのPTAの中に、人権啓発委員会等を組織し、男女平等や男女共同参画を含めた人権学習(男女が互いを尊重することの大切さ等)に取り組み、家庭・地域社会との連携のもとに人権意識の高揚に努めるよう指示した。				2	3	3	2	2	PTA活動における男女共同参画の視点について、指示する。	2	教育委員会指導室
・保育参観、半日保育参加等をととして、園内の環境を見ていただいたり、日頃の取り組んでいる保育全体を知ってもらうことで男女平等、男女共同参画の視点での取り組みを伝えることができた。 ・運動会、発表会等を通して取り組みを伝えることができた。				・保育参観、半日保育参加等をととして、園内の環境を見てもらい、日頃から男女平等、男女共同参画の視点で取り組んでいる保育を知ってもらう。 ・運動会、発表会、園だより、クラスだよりを通して取り組みを伝えることができた。				・保育参観、半日保育参加等をととして、園内の環境を見てもらい、日頃から男女平等、男女共同参画の視点で取り組んでいる保育知ってもらう。 ・運動会、発表会、園だより、クラスだよりを通して取り組みを伝えることができた。				・保育参観、半日保育参加等をととして、園内の環境を見てもらい、日頃から男女平等、男女共同参画の視点で保育の取り組んでいることを、知ってもらう。 ・運動会、発表会、園だより、クラスだよりを通して取り組みを伝えることができた。				2	3	1	1	1	今後も行事等で啓発していく。	2	こども未来室
①子育て応援講座「パパとつくろう、ミートローフでクリスマススライス」 12/19(土)午前と午後の2回実施 参加9組×2回・参加人数77人 ②子どもサイエンスキャンパス「パパ、ママと実験はじめよう!～空気でスイスイUFOホバークラフト～」 10/17(土) 参加15組・参加人数35人 ①、②とも親子で参加できるよう土曜日に実施した。				子育て応援講座 ①タイトル: 「パパとデコろう!簡単ふんわりパパオムライス」 開催日:10/22(土)午前・午後の2回実施 参加人数:午前12組、午後7組 合計19組(35人)/24組定員) ②子どもサイエンスキャンパス タイトル:パパと実験やってみよう! 「虹の万華鏡 光のスペクトルの美しさを楽しもう」 開催日:10/2(日) 参加人数:6組(15人)/15組定員				①「コウノドリ先生から学ぶ子育て応援講座」 開催日:2月22日(木) 参加人数:52人/定員:50人 ②IRISサイエンスキャンパス「回転が止まらない!?!不思議なコマをつくろう!～身近なモノがよくまわるコマに大変身!～」 開催日:10月14日 参加人数:15組(34人)/定員:15組				子育て応援講座の開催 「お父さんと一緒に作るヘルシー豆腐デザート」 開催日:12月1日(土) 参加人数:11組(25人)/定員:12組 「親子でDIY教室～お父さんと一緒に手作り家具を作ってみよう」 開催日:3月21日(木) 参加人数:11組(23人)/定員:12組				1	3	1	1	1	親子で参加できるよう、父親が参加しやすいよう配慮に努め、取り組んでいく。	2	人権・男女参画室